

徳島県美術家協会

美術年報

2025



目 次

はじめに	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1	
令和6年事業報告		3	
令和6年度役員名簿		5	
令和6年度各部役員名簿		6	
第30回放美展記録		11	
第30回放美展出品・入選等状況		16	
第30回放美展公募規定		17	
第78回徳島県美術展		18	
第78回徳島県美術展出品・入選等状況		26	
第78回徳島県美術展公募規定		27	
徳島県美術展審査員一覧		28	
徳島県美術展開催運営要項		32	
第20回徳島県こども美術展		36	
第20回徳島県こども美術展出品・入選等状況		37	
令和6年各部記録			
・日本画部	部会長 岡 英彦	39	
・洋画部	部会長 平木 美鶴	42	
・写真部	部会長 上野 照文	50	
・立体(彫刻)部	部会長 居上 真人	54	
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	59	
・書道部	部会長 亀石 文苑	63	
・デザイン部	部会長 坂野美恵子	71	
徳島県美術家協会規約		75	
後援承認事務取扱規定		76	
後援名義使用承認申請書様式		77	
令和6年度会員名簿			
・日本画部	79	・美術工芸部	86
・洋画部	80	・書道部	87
・写真部	83	・デザイン部	96
・立体(彫刻)部	85		
あとがき			

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

昨年は元日に能登半島で地震が発生し、その後同じ奥能登地方を記録的豪雨が襲い二重の災害に見舞われました。1年を経過しても現地では多くの方が避難生活を余儀なくされています。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。被災地となった能登地方の輪島には、古くから世界に誇れる漆産業の伝統工芸「輪島塗」があります。そして、隣の珠洲市では数年前から豊かな自然の中でアートを生かして、世界中にその魅力を発信している「奥能登国際芸術祭」の開催地として知られています。漆関連工房や人材の損失、芸術祭の貴重な作品の損害などのことが心配されます。これらのことから、これまでに能登地方と関わりのあった世界中の人々から多くのエールが寄せられているとお聞きしております。被災地の1日も早い復興を願っています。

さて、5月に開催された「放美展」は応募数が前回よりも若干数増え、コロナ対策で休止していた公開審査やギャラリートークも復活して、5年ぶりの通常開催となったことが何よりの喜びです。今回は大きな節目となる30年目を迎えるにあたり、第30回記念展としてこれまでの受賞で、過去に無監査を経験した作家の作品を集めた特別展示を行うことができたことも大きな成果であったと感じています。

「第78回徳島県美術展」は前年と同様に7部門を3期に分けての開催となりました。審査は、各部門とも県外の先生方をお願いし、公開での審査を実施しました。特別賞は、どの部門もそれぞれ技術力が高く内容が豊かで、見応えのある作品が選ばれました。受賞者の特徴としては、経験豊富なベテラン作家が十分にその実力を発揮していました。長年培ってきた表現技術を少しずつ自分のものとして成熟させ、それが鑑賞者の感動を誘うような作品に仕上がったのではないかと思います。気力、体力の続く限り創作活動を継続してほしいと願います。

こどもの豊かな文化と創造を育むことを目的とした「第20回徳島県こども美術展」は、今回も1万5千点近くの応募がありました。絵画部門では県知事賞に松茂中学校3年生の北岡優乙さんが選ばれました。空想の画面を作り、巨大クジラが宇宙を飛んでいるかのような夢のある幻想的な作品でした。書写部門では県知事賞に半田小学校5年生の岡結子さんが選ばれました。自分の夢に思い馳せながら「広がる夢」を丸みを帯びたバランスの良い字体で書き上げていたのが見事でした。展示会場には今回も多くの親子連れが訪れ、和やかに鑑賞していました。

その他、昨年県内で開催された美術展で印象に残った幾つかを紹介します。

洋画部が主催した「第 37 回洋画部会員展」が、7 月にあわぎんホールで開催されました。会員 63 名が出品して、お互いに日頃の研鑽の成果を発表しました。

写真部主催による「第 2 回徳島県美術家協会写真部会展」は、7 月に阿波銀プラザで 57 名の会員作品が鑑賞できました。

また、徳島県立近代美術館と徳島県立二十一世紀館主催の「フリースペースチャレンジとくしま芸術祭 2024」は、今回で 15 回を数えこれまでにユニークな作品やアーティストを発掘してきましたが、これが最後の展示となることが惜しまれます。

吉野川市文化協会が設立 20 周年を記念して市文化研修センターで 7 月に開催された「第 20 回総合美術展」は、日本を代表する作家や地元にはゆかりのある作家の作品 52 点を展示して、見応えのある作品群に多くの鑑賞者で賑わっていました。普段接することのできない作品が身近に鑑賞できる機会を与えてくれた企画展でした。

個展では、本協会の会長を長年務められた河崎良行さんの米寿を記念した回顧展が、4 月に阿波銀プラザで開かれ、70 年間の制作活動を振り返る素晴らしい作品展示になっていました。

書道部会員の伊丹東龍さんは、喜寿を記念して初の個展を県立文学書道館で 5 月に行いました。リズム感のある線で、美しい書体を表現した作品が展示されていました。

写真部会員の川真田慶治さんが広島を題材にした平和を願う写真展が 6 月に阿波銀プラザで開催されました。

日本画部会員の坂容子さんが 11 月に徳島市シビックセンターで初個展を開き、約 30 年間描き溜めた花鳥画、抽象画を交えた 36 点の力作を拝見することができました。

慶事としては、本協会元事務局長で美術工芸部会員の、現在ガラス工芸作家として活躍中の藤井哲信さんが、「第 16 回とくしま芸術文化賞」に輝きました。長年の創作活動と地域への貢献が評価されたものと思います。心よりお祝い申し上げます。

最後になりましたが、本協会の活動に対して、ご協力、ご支援を賜りました徳島県、徳島新聞社、四国放送及び徳島県美術家協会関係者の皆様に心より感謝の意を表します。

令和 7 年 3 月

令和6年事業報告 (2024.1.1 ~ 2024.12.31)

- (1) 総 会 ◇令和6年5月18日(土) あわぎんホール
- (2) 第30回放美展 (別掲)
- (3) 第78回徳島県美術展 (別掲)
- (4) 第20回徳島県子ども美術展 (別掲)
- (5) 関係会議 ◇ 2月26日(月) 第78回(2024)県展 第1回運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 4月17日(水) 第30回(2024)放美展 第2回運営委員会 四国放送
 ◇ 8月 5日(月) 第78回(2024)県展 第2回運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 11月27日(水) 第31回(2025)放美展 第1回運営委員会 四国放送
- (6) 部会行事 ◇洋画部 第37回洋画部会員展(7.18~7.21) あわぎんホール
 ◇写真部 徳島県美術家協会写真部会展(7.5~7.7) 阿波銀プラザ
- (7) 各種後援 ◎第55回 モダンアート徳島支部展 (1.24~1.30)
 ◎四国大学書道文化学科卒業制作展 (2.2~2.4)
 ◎第19回 二市美術交流展 (2.2~2.4)
 ◎第47回 東玄書道会展 (2.17~2.19)
 ◎JAGDA 徳島デザイン展 BEYOND (2.22~2.25)
 ◎森本秀代 美術作品展 (2.28~3.5)
 ◎第44回 書研社展 (3.22~3.24)
 ◎岩崎英昭 写真展(個展) (3.27~4.1)
 ◎第17回 桐雲会書作展—恩師の書とともに— (3.29~3.31)
 ◎第51回 光輪社書作展 (3.29~3.31)
 ◎鳴門水彩美学展 (4.13~4.16)
 ◎第46回 写真同人「炎」作品展 (5.10~5.12)
 ◎第30回記念 耿の会書作展 (5.17~5.19)
 ◎第1回 ジュニア現代書展—チャレンジで書— (5.17~5.19)
 ◎第44回 八紅会 (5.23~5.26)
 ◎第60回 溪生社水墨画展 (5.24~5.26)
 ◎伊丹東龍 喜寿展 (5.30~6.2)
 ◎徳島アート21 第21回展 (5.30~6.2)
 ◎第18回 令和6年度徳島大学書道部・OB会書作展 (5.31~6.2)
 ◎第69回 成蹊書道会展 (6.7~6.9)
 ◎川真田慶治写真展=被爆ヒロシマを撮る= (6.21~6.23)

- ◎第2回 徳島県美術家協会写真部会展 (7.5～7.7)
- ◎第45回 東光会徳島支部展 (7.5～7.7)
- ◎吉野川市芸術祭 吉野川市文化協会設立20年記念美術展・
 - 第20回 総合美術展 (7.7～7.21)
- ◎第82回 世代美術展 (7.11～7.14)
- ◎第64回 写楽会写真展 (7.13～7.16)
- ◎第12回 二科会写真部徳島支部展 (7.26～7.29)
- ◎徳島県立川島高等学校卒業生美術展 (8.17～8.19)
- ◎第30回 三美書研展(三好美馬書道研究会展) (8.22～8.25)
- ◎第13回 阿波美術の森作品展 (8.28～9.1)
- ◎瀬戸内デザイングランプリ 2024 (9.2～12.8)
- ◎第89回 書芸院展一ヶ・セラ・セラー (9.5～9.8)
- ◎第55回 ナルトびんぼけクラブ写真展 (9.6～9.8)
- ◎第18回 写真同人「光」写真展 (9.14～9.16)
- ◎第69回 書協人展 (9.25～9.28)
- ◎射場 少藍書作展一篆刻・書一 (9.27～9.29)
- ◎第30回 徳島障がい者芸術祭エナジー 2024 (10.8～10.13)
- ◎第48回 旺玄会徳島支部展 (10.10～10.14)
- ◎第9回 写真倶楽部八丁目写真展 (10.11～10.13)
- ◎喜屋武 美沙子写真展 (10.18～10.20)
- ◎旺玄会三人展～画の探求、私の調和～ (10.20～12.1)
- ◎第41回 青彩美術・第49回あわ洋画ぐるうぷ合同展 (10.24～10.27)
- ◎第27回 泰書展 テーマ：時 (10.26～10.27)
- ◎第16回 徳島絵画美学展 (10.31～11.3)
- ◎第21回 徳島版画展 (10.31～11.4)
- ◎第17回 写好館クラブ写真展 (11.2～11.4)
- ◎第35回 長玄書道会展 テーマ『幸せ』 (11.8～11.10)
- ◎第38回 藍美展 (11.8～11.10)
- ◎第20回 吉野川市書人会作品展 (11.15～11.17)
- ◎第27回 溪生社水墨画小品展 (11.15～11.17)
- ◎第54回 芳藍書道展 (11.22～11.24)
- ◎第27回 せせらぎ書展 (11.22～11.24)
- ◎第54回 直心会書展 (11.29～12.1)
- ◎第44回 臨池書展 (11.30～12.1)
- ◎第9回 書道創作グランプリー手本のない“実力”作品展ー
 - (11.30～12.8)
- ◎第53回 歳末チャリティー美術展 (12.12～12.15)
- ◎第28回 尚真書展 一筆を遊ばせてー (12.13～12.15)
- ◎第8回 由源書心会展 (12.13～12.15)

令和6年度 役員名簿

会 長	松 永 勉
副会長	西 野 和 男
"	荒 井 彭 仙
事務局長	敷 島 のり子
理 事	岡 英 彦
"	土 方 るみ子
"	中 西 芳 雄
"	日 浦 猛 史
"	平 木 美 鶴
"	西 川 周 三
"	嵯 峨 潤 三
"	鈴 木 敬 子
"	手 塚 てる子
"	上 野 照 文
"	橋 本 圭 祐
"	井 藤 光 章
"	林 敏 彦
"	増 田 寿
"	居 上 真 人
"	上 月 佳 代
"	武 田 亜希子
"	東 光 司
"	松 下 慶 一
"	森 賢 一
"	森 明 治
"	藤 井 哲 信
"	亀 石 文 苑
"	岩 本 志 豪

理 事	能 仁 華 瑤
"	川 村 春 琴
"	森 光 翔
"	坂 野 美恵子
"	田 中 一 郎
"	敷 島 のり子
"	四十宮 隆 志
監 事	西 川 周 三
"	上 野 照 文
顧 問	河 崎 良 行

令和6年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡 英 彦
委 員	西 野 和 男
"	土 井 洋 子
"	土 方 るみ子
"	柳 田 一 子
"	坂 容 子
"	梶 浦 千 瑞
監 事	中 西 芳 雄
"	日 浦 猛 史
事務局員	日 浦 猛 史
"	柳 田 一 子

洋画部

部会長	平 木 美 鶴
委 員	榊 田 務
"	西 川 周 三
"	伊 勢 浩 章
"	嵯 峨 潤 三
"	鈴 木 敬 子
"	二 條 均
"	遠 藤 誠 一
"	手 塚 てる子
"	大 西 文 代
"	杉 本 祥 子
"	林 伸 也
"	加 川 由紀子
"	川 人 健 司
監 事	伊 勢 浩 章
"	鈴 木 敬 子
事務局員	西 川 周 三
"	手 塚 てる子

写真部

部会長	上	野	照	文
委員	橋	本	圭	祐
"	井	藤	光	章
"	林		敏	彦
"	増	田		寿
"	大	和	健	司
"	森	住		博
"	川	眞	慶	治
"	堀	口	幸	男
"	野	藤	み	き
"	梅	本	貞	範
"	岩	崎	英	昭
"	平	野	史	子
"	賀	川	泰	広
"	船	越	正	文
"	大	津	勝	治
"	武	地		雅
"	土	橋	成	行
"	野	口	佳	一
"	三	木	理	司
"	森	内	昭	男
"	田	中	伸	廣
"	井	上	憲	治
"	阿	部	啓	三
"	福	田		勉
"	吉	田	隆	之
"	岸	田	義	市
"	板	東	よし	お
"	熊	谷	美	智
"	高	橋	一	恵
監事	森	住		博
"	堀	口	幸	男
事務局員	井	上	憲	治
"	阿	部	啓	三

立体（彫刻）部

部会長	居	上	真	人
委員	井	下	俊	作
"	武	田	亜	希子
"	東		光	司
"	木	村	大	志
監事	上	月	佳	代
"	武	田	亜	希子
事務局員	上	月	佳	代
"	木	村	大	志

美術工芸部

部会長	松	下	慶	一
委員	山	上		馨
"	七	條	猪	三郎
"	森		賢	一
"	橘			惠
"	犬	伏		絢
"	斎	藤	和	彦
"	森		明	治
"	藤	井	哲	信
"	田	村	栄	一郎
"	大	貝	貞	雄
"	松	本		宏
"	丸	居	哲	雄
"	福	本	美	智代
"	長	尾	敏	子
"	上	田		優
"	内	藤	久	子
"	越		由	子
"	近	藤	佐	起江
監事	大	貝	貞	雄
"	田	村	栄	一郎
事務局員	犬	伏		絢
"	松	本		宏

書道部

部会長	亀	石	文	苑
委員	青	木	東	原
"	赤	川	景	舟
"	朝	三	阜	如
"	阿	部	博	子
"	荒	井	彭	仙
"	和	泉	和	舟
"	井	上	虹	雨
"	岩	本	志	豪
"	上	田	輝	芳
"	上	野	益	泉
"	内	田	麻	紀
"	大	西	清	葩
"	岡	崎	啓	香
"	沖	田	唐	谷
"	折	野	佳	子
"	折	野	幸	峰
"	加	村	喜	美子
"	川	上	虹	泉
"	河	野	真	流
"	河	野	多	美
"	川	端	康	清
"	川	村	春	琴
"	岸		緑	香
"	日	下	溪	翠
"	倉	本	景	雨
"	幸	田	清	尚
"	佐	野	収	華
"	清	水	桂	月
"	鈴	江	美	音子
"	鈴	木	恵	理

委員

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

薄田玲泉
隅田英二
高瀬大峯
田上洋香
高柳早秀
武市鳴雲
竹田和代
武田玲香
多田清芳
玉城乾香
玉城乾舞
富久鳴泉
中尾勝子
長原皋月
中村春岳
仁木志香
西谷香峰
能仁華瑤
浜佳香
林桂翠
林美雪
平岡幽琴
弘田長風
福永美泉
福家美鵬
藤原育代
松永翠月
丸岡春曉
丸田惠風
三宅葉子
三浦富美
南溪石

委員

"

"

"

"

"

"

"

"

"

監事

"

事務局員

"

宮守崇流
向井京子
村部幸苑
森光翔
八木藍玉
矢部知子
山口華城
山口幽徑
山本景琴
吉田翠彩
長原皋月
浜佳香
長原皋月
林美雪

デザイン部

部会長	坂 野 美恵子
委 員	斎 藤 繁 次
〃	吉 本 實
〃	斎 藤 志津子
〃	佐 藤 あすか
〃	山野井 宏 宗
監 事	生 田 典 子
〃	西 林 良 枝
事務局員	小 林 あ い
〃	天 羽 宏 美

第30回放美展記録



■ 日本画	☐	☐	☐
■ 洋画	☐	☐	☐
■ 写真	☐	☐	☐
■ 彫刻	☐	☐	☐
■ 美術工芸	☐	☐	☐
■ 書道	☐	☐	☐
■ デザイン	☐	☐	☐

2024
5/3金-6月

主催：西国放送株式会社・徳島県美術家協会
特別協賛：四国大学
後援：徳島県、一般社団法人徳島新聞社

- 作品搬入：4月28日(日) 9:30～12:00 日本画・洋画・書道・デザイン
4月29日(月) 9:30～12:00 写真・彫刻・美術工芸
- 審査：4月28日(日) 13:00～ 日本画・洋画・書道・デザイン
4月29日(月) 13:00～ 写真・彫刻・美術工芸
- 会期：5月3日(金)～5月6日(月)
10:00～17:00 (入場は16:30まで)
- 会場：あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)
- 表彰式：5月5日(金) 14:00～ あわぎんホール5階



放美展特別展示会場風景

日本画

[審査員]	岡 英彦	土方るみ子	中西 芳雄		
[特別展示]	西野 和男	日浦 猛史	坂 容子	柳田 一子	富永 博子
[無鑑査]	西岡 ちほ				
[放美賞]	西田 江美				
[優秀賞]	宮崎 英子				
[四国大学賞]	盛山 陽加				
[入選]	水田 貴子	新居左よ子	谷崎 和広	白石 悠喜	谷 尚武
	河原智恵子	木原 典子	鈴木 恵子	竹田 彩夏	大久保楨宙
	山田 梨央	円 央	中溝 敦子	長村 明奈	西井 桃花
	山野井咲奈				

洋画

[審査員]	平木 美鶴	嵯峨 潤三	大西 文代		
[特別展示]	桝田 務	西川 周三	伊勢 浩章	青木 幸子	福良 哲子
	野口 暁子	杉本 祥子	河本多恵子		
[無鑑査]	鈴木 敬子	北村 照子	小笠原秋子		
[放美賞]	山本 那月				
[優秀賞]	藤田ひかる	中川 和奏	川人 健司	松尾心々菜	村本 紗良
[四国大学賞]	渡邊 小明				
[入選]	岩井 千晴	高橋 幸二	竹内 定義	岡崎 恵	三橋 玄児
	浦島 正員	天野 和子	小倉健太郎	上原 俊代	小倉満智子
	坂東 悦子	工藤 桂子	福井 摂哉	夏 ミクリ	藤田 真衣
	仁木 英子	林 静代	井関久美子	菊山 紗羽	杉山 里美
	岸田 好正	岸浜 彩葉	曾我部清美	今井 雅省	服部 和代
	松浦 一	小河 京子	平野千彩子	船崎久彩子	小笠 正明
	河原智恵子	清原 眞弓	山上 勇	東原 綺子	森本 絢音
	横田 由紀	阿部 昌子	原 百那	福本 恵	尾本 翔太
	長尾賀代子	東條 博人	蔭山 漣	後藤 妃奈	三上 碧惟
	高宮 達博	東 朗	青山 奏音	小川 美輝	大久保由子
	黒島 貞子	森本 一弘	平岡 由麻	山添 悠	天田 芹奈
	西川友里恵	高木 幸美	平田 蒼馬	藤田 茉優	浜中 優那
	遠藤公美子	西 広生	横畠 寛	齊藤 保鷹	西田 治樹
	藤本 誠子	米田恵美子	吉田賀代子	大塚 万愛	前田 姫奈
	細谷 孝子	中村 俊夫	石川かおり	岩井 春美	中村木の実
	林 茂子	前野 亮治	篠原 稔	大久保佐智子	坂本 彩奈

宮内 一子 中野 苺梨 松本 瑞生 吉田実萌花 坂本 菜摘
田中ももか

写真

[審査員]	上野 照文	増田 寿	堀口 幸夫		
[特別展示]	橋本 圭祐	林 敏彦	井藤 光章	大和 健司	梅本 貞範
	柳本 正	森住 博	野藤みきよ	森内 昭男	田中 伸廣
	平野 史子	熊谷美智子	福井 純子	高橋 一恵	
[無鑑査]	野藤 敏美	谷 ひづる	板東美智代	幾田 茂仁	
[放美賞]	篠原 敏晃				
[優秀賞]	小富 利樹	邊見 博子	今出 弘	姫野 博司	
	谷 嘉明	吉田 隆之	石川 弥加		
[四国大学賞]	今井 雅貴				
[入選]	岡田 政子 ⁽²⁾	板東よしお ⁽³⁾	姫野 博司	吉田 隆之	水口 ゆみ
	井上 義信 ⁽³⁾	井内 紀文 ⁽³⁾	二階 博司	平島 久嗣	岡 三希生 ⁽²⁾
	篠原 敏晃	邊見 博子 ⁽²⁾	井上 康子	佐々木 正 ⁽²⁾	坂本 恵子 ⁽²⁾
	小富 利樹 ⁽²⁾	森住 孝義 ⁽³⁾	松本佳図子 ⁽²⁾	林 好一	柏原 史郎 ⁽²⁾
	佐藤 政男 ⁽²⁾	山上 堯 ⁽³⁾	岡本 満幸 ⁽³⁾	鈴江 純史 ⁽²⁾	青木 望愛
	佐藤 康江 ⁽²⁾	山上 道子 ⁽²⁾	三谷美津子 ⁽³⁾	郡 英明	原田 愛
	南 敦子 ⁽²⁾	加地 亮詞	笠井 孝純 ⁽²⁾	谷 嘉明	河野 俊文 ⁽²⁾
	後藤田溜美子 ⁽²⁾	長島 毅 ⁽²⁾	久保 朋也	田上 吉輝 ⁽²⁾	平土 貴子 ⁽³⁾
	おどみ岐諷 ⁽³⁾	佐藤美智子 ⁽³⁾	山下 修司 ⁽³⁾	平土 明弘 ⁽³⁾	西内 健 ⁽²⁾
	住友 登 ⁽³⁾	鍋島治世子 ⁽²⁾	中川はるか	今井 雅貴	西内 貴子
	江口美恵子	野田 賢 ⁽³⁾	大野 光祥	岩井 理央	石川 弥加
	川野 阿佐 ⁽³⁾	小川 想介			

彫刻

[審査員]	居上 真人	井下 俊作	武田亜希子		
[特別展示]	河崎 良行	松永 勉	上月 佳代	東 光司	大貝 寿子
[無鑑査]	横畠 寛	大貝 貞雄			
[放美賞]	吉田 陽子				
[優秀賞]	猪井 賢二				
[四国大学賞]	松原 琉衣				
[入選]	小田太一郎	笠原 美里	渡部 小夏	田中 文音	野田 葵
	村澤 陽				

美術工芸

[審査員]	森 賢一	橘 惠	森 明治		
[特別展示]	松下 慶一	藤井 哲信	犬伏 絢	斎藤 和彦	四十宮年代
	大貝 貞雄	大貝 寿子	松本 宏	吉田 陽子	
[無鑑査]	前野 亮治	近藤佐起江	久保 英樹		
[放美賞]	長尾 敏子				
[優秀賞]	向 紫	上田 優	手塚 健一		
[四国大学賞]	泰地 映那				
[入選]	三橋 玄児	吉谷 正	溝杭 美香	松永 卓司	長田 梓
	柴 純代	佐野 正顕	高瀬 裕司	小笠原久美子	清原 眞弓
	向 紫	元井 真紀	笑店 西屋	上野 陽子	丸井 明
	長尾賀代子	東條 容子	田岡久美子	青木 壽美	安富 順子
	阿部 能則	田岡 吉加	吉野 由紀	黒川 佳代	石川 眞一
	遠藤 好子	家形笑美子	佐々木友香里	野田富美子	大内 敏男
	遠藤 勇	武田 潤子	中山 愛子	松島 典子	藤中 教代
	上村 昭子	小林 清重	濱口 正義	工藤 公子	

書道

[審査員]	亀石 文苑	玉城 乾香	田村 元師		
[特別展示]	荒井 彭仙	能仁 華瑤	隅田 英二	中尾 勝子	川村 春琴
[無鑑査]	加川 翔子	児玉 永祥			
[放美賞]	河野 春霽				
[優秀賞]	真鍋優妃乃	田中 心杏	西 朱理	西川 実希	前田 翠琉
	藤田美也子	糀 真理子	長尾 香蘭	上田 華凜	
[四国大学賞]	橋本 紗季				
[入選]	脇 泰山	佐渡 梢花	北村 佳子	内田 麻紀	板東 杏樹
	中西 之桐	井上 梓美	京野 白燕	谷内 花聲	三宅 葉子
	戸出 芳泉	大畠 由愛	脇川 千里	畠山 花鮮	和泉 和舟
	丸岡 真弓	吉永ひなの	福田 歩美	佐竹 夏実	大久保雅子
	真鍋 心	中井 怜奈	香川百々花	田岡佐記子	小野 宙成
	義友 真緒	西川 悠有	田中 子葉	塩田 龍澄	大西 清葩
	安友しずく	鎌倉 芽生	三好 仁子	野村 実礼	岡崎 啓香
	中村 孔亮	佐藤 美月	岩本 義浩	小林 美紅	金城 泰苑
	栗尾加代子	益田 順子	宮田梨音愛	清水 香凜	武市 奏香
	堀 弘子	深薮 美雪	田中 美結	小林 優海	武田 玲香
	松村 庭蒼	清水 芳雲	木下 薫乃	岩佐 万葉	坂東 裕美

田中 七杏	阪野 恵子	平尾 卓美	藤本 瑤香	三木 遙樂
深山 美貴	白草 万穂	篠賀 知代	藤原 乾心	横関 煌香
深山 寛子	組屋 雄紀	濱口 恵	西岡 幹朗	義富 博正
森 さくら	丸関多賀子	工藤 葵	森 眞美	佐藤由紀代
斎藤 節子	森口 祐理	大田 麻緒	長野 勇輝	木徳 英幸
中村 絢子	木本 実佑	今津 英子	嵯峨 京	相川 博美
光山 実沙	井野 恵風	竹内 友里	三好 育子	平山 恵子
芝野 藍嘉	田渕 紀香	竹内 沙耶	脇坂 優	森本 浩恵
吉倉 鉄雄	先山 晴虹	山本 春花	加村喜美子	岡本みつる
小笠 海雲	藤崎 友子	坪井 佳代		

デザイン

[審査員]	坂野美恵子	斎藤 繁次	四十宮隆志	
[特別展示]	田中 一郎	敷島のり子	吉本 實	
[無鑑査]	小林 あい	山野井宏宗		
[放美賞]	松島 早紀			
[優秀賞]	戎野 裕二	兒島 史	藤川 芽衣	海原 董
[四国大学賞]	檜原 陽菜			
[入選]	戎野 裕二 ⁽²⁾	永本あすか	一宮 彩華	大東かのん
	梶本 政仁	田村 梨緒	近藤 凧紗	中川あやか
	枋谷 光	山岸 美音	佐藤あすか	住友 靖子
	信田 幸一 ⁽²⁾	海原 董	Ten.Kimiyo	林 敏雄
	小川 日菜	福永 高志	古林 珠帆	阿部 百花
	品川いろは	松田 杏咲	内海 舞雪	藤本百合子
	村上 花瑠	藤田 優河	矢野 朝音	財田 月音
	木村 衣吹	中川 涼音	長田 琢人	小笠 萌桃
	桑田 咲紀 ⁽²⁾	石村 美琴	長尾 美波	松浦 由依 ⁽²⁾
	伊月 太陽	原田 朱織	小川紗也加	高野 友彰
	西 楓翔	天野 風花	桒嶋 美咲	武市 里紗
	井上 芭菜	市山みづき	前田 夏希	桑原 杏奈
	福原 成美	坂本 陽		
				高岡 実結
				糸田川初乃
				寒川 莉子
				大島 みゆ
				田村いぶき
				海原 董
				片山あかり ⁽²⁾
				楠 萌加
				山本 七海 ⁽²⁾
				坂本 玲奈
				佐古 虎優
				中村 姫菜

第 30 回放美展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		27	128	178	13	63	225	106	740
出 品 者 数		26	121	72	13	51	189	96	568
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	5	7	1	3	9	4	30
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	16	86	107	6	39	103	67	424
	計	19	93	116	9	44	114	73	468
	入 選 率	70.4%	72.7%	65.2%	69.2%	69.8%	50.7%	68.9%	63.2%
選 外	落 選 数	8	35	62	4	19	111	33	272
	落 選 率	29.6%	27.3%	34.8%	30.8%	30.2%	49.3%	31.1%	36.8%
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	1	3	4	2	3	2	2	17
	計	4	6	7	5	6	5	5	38
展 示 数		23	99	123	14	50	119	78	506

第 30 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
書類受付期限	令和6年4月10日(水)			
搬入日	令和6年4月28日(日)午前9時半から正午		令和6年4月29日(月)午前9時半から正午	
搬入場所	あわぎんホール 3階展示室(写真部門は4階展示室)			
審査日	令和6年4月28日(日)午後1時から		令和6年4月29日(月)午後1時から	
審査員	岡 英彦 中西 芳雄 土方るみ子	平木 美鶴 嵯峨 潤三 大西 文代	上野 照文 増田 寿 堀口 幸夫	居上 真人 井下 俊作 武田垂希子
出品料	1点目3,000円 2点目・3点目各1,000円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は1点1,000円(2・3点目は無料)			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1人3点以内			
	・ 最小：額縁の幅を除く画面が70cm×47cm以上 最大：額縁を含む縦、横の一边が130cm以内 ・ 額装 ・ 裏面に吊り紐 ・ アクリル・ガラス等で画面を覆わない	・ 最小20号(版画はハッ切額)～最大50号以内(ただしS型は30号が上限) ・ アクリル・ガラス等で画面を覆わない(ただし、水彩画、版画はアクリルに限り可) ・ 額装 ・ 吊り紐	・ 単写真・組写真とも半切及びA3から全倍サイズで、画面の長辺が40cm以上90cm以内 ・ スクエアサイズ(正方形)は1辺が30cm以上50cm以内 ・ 組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定 ・ 作品はパネル貼りし、額装は禁止(ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可)	・ あわぎんホール(県郷土文化会館)のエレベーターに収容可能な大きさ ・ 100kg以内 ・ 展示に危険を伴わないもの
入 賞	・放美賞 各部門1点 ・四国大学賞 各部門1点(高校生・高専生(全学年)の入選作品から選出) ・優秀賞 出品数に応じて決定			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
書類受付期限	令和6年4月10日（水）		
搬入日	令和6年4月29日（月）午前9時半から正午	令和6年4月28日（日）午前9時半から正午	
搬入場所	あわぎんホール 3階展示室		
審査日	令和6年4月29日（月）午後1時から	令和6年4月28日（日）午後1時から	
審査員	森 賢一 橘 恵 森 明治	亀石 文苑 玉城 乾香 田村 元師	坂野美恵子 斎藤繁次 四十宮隆志
出品料	1点目3,000円 2点目・3点目各1,000円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は1点1,000円（2・3点目は無料）		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1人3点以内		
	・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・立体作品は縦・横・奥行がそれぞれ100cm以内で、125,000立方cm以内 ・平面作品は縦180cm・横150cm以内で、22,500平方cm以内 ・展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるように明示すること	・0.85平方m以内（例／半切、半切＋半切4分の1、全紙2分の1） ・額装 ・裏面に吊り紐 ・申込書に種別（漢字・かな・近詩・前衛）を、裏面に釈文を記載のこと	・グラフィックデザインに限る ・B1サイズ（728mm×1,030mm）で厚さ5mmから75mm以内、外枠（幅20mm以内）を含めた重さが5kg以内 ・ガラス額装は不可 ・実在の商品名、会社名の使用は不可（著作権、肖像権に抵触しないこと） ・画像生成AIを使用した作品は不可とする ・裏面に吊り紐
入 賞	・放美賞 各部門1点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門1点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）		

注 1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする

2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担 (梱包料金を含む) で返送する

第78回徳島県美術展



ポスターは、県展ポスターデザイン公募で最優秀賞の松本昭雄さんの作品

- 会 期：第1期 日本画・洋画・立体(彫刻)
令和6年10月9日(水)～14日(月)
- 第2期 写真・美術工芸・デザイン
令和6年10月16日(水)～21日(月)
- 第3期 書道
令和6年10月23日(水)～28日(月)

※1・2・3期とも9:30～17:00

- 会 場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）



県展会場風景

日本画

[審査員]	奥村 美佳					
[特別出品]	西野 和男	岡 英彦				
[招待]	土方るみ子	土井 洋子	中西 芳雄	日浦 猛史	反田 卓	
	坂 容子	梶浦 千瑞				
[無鑑査]	石原 千鶴					
[遺作]	長尾 弘子					
[特選]	後藤田 実	(県美術家協会会長賞)				
	大久保慎宙					
[準特選]	久保 守近	木原 典子	植田 忠生			
[奨励賞]	盛山 陽加	富永 博子	鍋島治世子			
[入選]	中筋奈津子	中溝 敦子	宮越 千佳	山田 梨央	大西 英徳	
	西岡 ちほ	鈴木 恵子	高瀬 道子	新居左よ子	水田 貴子	
	近藤 芳治	宮崎 英子	谷 眞理子	吉村 敬子	谷 尚武	
★[ギャラリー賞]	宮越 千佳					

洋画

[審査員]	中山 智介					
[特別出品]	榊田 務	平木 美鶴				
[招待]	露口 敏幸	長尾 弘久	西川 周三			
[無鑑査]	板井 義典					
[賛助出品]	中辻奈美枝					
[遺作]	清水 亟愼					
[特選]	土橋 正子	(県知事賞)				
	鈴木 良治	鹿山 公弘				
[準特選]	林 敏雄	坂本 菜摘	手塚てる子	花菱 良一	藤田 紗羽	
	越久 高照					
[奨励賞]	村本 紗良	福井 摂哉	福良 哲子	永江 礼子	細川 禮子	
[入選]	西 広生	坂東 優	大津 憲文	近清 哲夫	川上 晴美	
	前野 亮治	吉川 光子	宮崎富美子	笹田 義宏	岩井 春美	
	植田フクミ	高橋 厚代	浅井 清司	富本 勝子	後藤 妃奈	
	中野 莓梨	岸田 好正	松尾心々菜	田中ももか	山添 悠	
	竹原 杏	松本 瑞生	清水 美玖	三上 碧惟	尾本 翔太	

川原 璃苺	伊藤 恵子	高田千代恵	岩井 千晴	田村 秀子
伊勢 浩章	萩原 典子	栗飯原満子	船本三千夫	林 静代
中村 俊夫	松浦 一	竹原 良亮	今井 雅省	環 民子
林 敦子	田中 尚美	久保 和子	村上 初江	西野 道夫
小泉たか子	村川 千代	平野 幸子	大南 芳子	小浜 敏也
船崎久彩子	島津 千尋	小倉満智子	藤本 誠子	佐藤 敬子
服部 和代	森 幸江	内田 満	田村 幸子	青木 幸子
阿部 昌子	米田恵美子	吉岡 厚子	三橋 玄児	富士原晴己
大坪潤一郎	川人 健司	二條 均	原 百那	藤井 香世
石井恵美子	林 伸也	杉本 祥子	大西 文代	小河 京子
嵯峨 潤三	遠藤 誠一	蔭山 泰子	吉岡 毅	清原 眞弓
谷 慎也	宮田 京子	三木田眞由美	伊勢谷昭博	佐藤 嘉子
黒川 彰子	斉藤 俊子	遠藤公美子	加川由紀子	東 朗
藤井 博之	藤本 千秋	高橋 味由	田岡 妃依	西條 敏夫
上原 俊代	長坂 芳子	上田 優	高橋 幸二	井関久美子
石幸 忠雄	工藤 芳	東原 綺子	工藤 桂子	林 茂子
木村 尚美	馬渕 尚子	長尾賀代子	井添 弘美	川人 文代
森本 一弘	坂東 悦子	黒島 貞子	小笠原秋子	浦島 正員
武田 洋子	河野 博匡	竹田多美子	西崎 志帆	仁木 英子
麻植 哲司				
★ [ギャラリー賞]	遠藤 誠一			

写真

[審査員]	立木 義浩				
[特別出品]	上野 照文				
[招待]	木田 英之	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐	前浦 芳久
	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正	大和 健司
	船越 正文	岩崎 英昭	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博
	平野 史子	川眞田慶治			
[無鑑査]	多川 静守	姫野 博司	賀川 泰廣		
[遺作]	田村 泰弘				
[特選]	秋山 修一 (県議会議員賞)				
	川野 阿佐	林 好一	阿部 啓三		
[準特選]	国見 良幸	板東よしお	幾田 茂仁	岡本 早苗	福田 勉

	野口 佳一	田上 吉輝	鈴江 純史	高橋 一恵		
[奨励賞]	大津 勝治	井上 義信	廣野美知子	井上 康子	宮本 幸治	
	河野 悟子	岩崎 浩子	野藤みきよ			
[入選]	国見 良幸	板東よしお ⁽²⁾	大津 勝治 ⁽²⁾	武地 雅	遠藤 博敏 ⁽²⁾	
	豊田 正夫	河野 俊文 ⁽²⁾	井内 紀文	大島 茂信 ⁽²⁾	岡本 早苗	
	喜多 昌弘	水口 ゆみ ⁽²⁾	櫛渕 紳哉	四宮 丈士	林 裕子	
	板東美智代 ⁽²⁾	今出 弘	正木 敏弘	三谷美津子 ⁽³⁾	岡本 満幸	
	井上 義信	篠原 敏晃	鍋島治世子	邊見 博子	林 和彦 ⁽²⁾	
	廣野美知子	大野 光祥 ⁽²⁾	江口美恵子	丸田 泰史	福田 勉 ⁽³⁾	
	田上 吉輝	山上 道子	西内 貴子	秋山 修一	山田 喜吉 ⁽²⁾	
	阿部 啓三 ⁽⁴⁾	播磨 一成	近藤 博之	井上 康子 ⁽²⁾	脇 俊二	
	喜屋武美沙子	河野 悟子 ⁽³⁾	岡田 政子	西岡まゆみ	野田 賢	
	谷 ひづる	加藤 敬二	加藤 郁代 ⁽²⁾	板東 泰雄	田中 伸廣 ⁽²⁾	
	岩崎 浩子	平島 久嗣	福原 敏雄	森内 昭男 ⁽²⁾	水口 義行 ⁽²⁾	
	野藤みきよ ⁽²⁾	井上 憲治	高橋 一恵	熊谷美智子 ⁽²⁾	小川 勝	
★[ギャラリー賞]	熊谷美智子					

立体(彫刻)

[審査員]	望月 菊麿					
[特別出品]	河崎 良行	松永 勉	居上 真人			
[招待]	井下 俊作	上月 佳代	武田亜希子	木村 大志		
[特選]	東 光司	(県教育長賞)				
[準特選]	二宮 治夫	小林 正則				
[奨励賞]	大貝 寿子	田中 文音				
[入選]	大貝 貞雄	吉田 陽子	川村 桂子	松原 琉衣	勝間 紗英	
	野田 葵	岡田 典子	森 克江			
★[ギャラリー賞]	川村 桂子					

美術工芸

[審査員]	福島 善三					
[特別出品]	七條猪三郎	松下 慶一				
[招待]	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢	斎藤 和彦	森 明治	

	藤井 哲信	多智花佐代子				
[無鑑査]	四十宮年代					
[特選]	東條 容子 (徳島市長賞)					
	田村栄一郎					
[準特選]	長尾 敏子	向 紫	近藤 公人	内藤 久子		
[奨励賞]	福本美智代	上田 優	久保 英樹			
[入選]	前野 亮治	島本 政子	遠藤 勇	遠藤 好子	近藤佐起江	
	川村 桂子	高橋 正昭	高橋 輝美	柴 純代	野田富美子 ⁽²⁾	
	松原 敦子	吉田 陽子 ⁽²⁾	篠原 安雄	石川 眞一	富永 裕子	
	丸居 哲雄	増田きよみ	平瀬 進也	阿部 能則	三橋 玄児	
	島田佳寿子	高瀬 裕司	長尾賀代子	濱口 正義	吉野 由紀	
	松本 宏	井開 洋子	鳥井 明子	仁田 和子	松永 卓司	
	中山 愛子	西條由美子	上村 昭子	谷中由佳里	山本 仁恵	
	手塚 健一	河野 美枝	江淵 達人	増田 満	井上 英子	
	近藤美佐子	越 由子	谷 弘子	山本 由実	青木 壽美	
	小橋美知子	森 敏子	喜多 啓司	金澤 博子	堀井佐和子	
	元井 真紀	洙田 裕子	藤中 教代	武田 潤子	松本みづる	
	家形笑美子	久保 英樹	西内 貞二			
★[ギャラリー賞]	川村 桂子					

書道

[特別出品]	荒井 彭仙	亀石 文苑				
[招待]	隅田 英二	清水 桂月	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代	
	山口 華城	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑	
	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	多田 清芳	玉城 乾香	
	薄田 玲泉	能仁 華瑤	宇山 泰鳳	岩本 志豪	林 桂翠	
	山口 幽径	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流	
	詫間 勝陽	向井 京子	川村 春琴	林 美雪	上田 輝芳	
	矢部 知子	玉城 乾舞	高瀬 大峯			
[無鑑査]	森 光翔	長原 皋月	糀 真理子	古川 秀蕙		
漢字・篆刻						
[審査員]	山本 悠雲					
[特選]	佐藤 美和 (徳島新聞社長賞)					
	河野多美子	谷 弘美	野口 有香 (以上漢字)			

[準 特 選]	辻 尚子	八木 澄江	後藤 紀代	吉村 敬子		
	長井あゆみ (以上漢字)		田渕 勲 (篆刻)			
[奨 励 賞]	近藤 紀子	鳩成 広美	青木 博美	大塚 洋子	岡部ひとみ	
	塩田 龍澄 (以上漢字)					
[入 選]	稲井 知子	馬居美智恵	弘田 敏章	鈴木エリ子	田上 洋子	
	柏尾美恵子	春藤 真紀	三好 恵子	山下弥栄子	四宮 花奈	
	日野出夏穂	青木 博志	西川 実希	新濱啓太郎	山口 幸子	
	土井 和也	中村 美子	丸岡 由美	林 幸子	谷 令子	
	山本 安子	吉田 鈴子	阪野 恵子	丸岡 真弓	木内理映子	
	大西 英徳	赤松 信映	山中 佳子	山城美三子	奥田 文子	
	黒田 恵子	田中 育子	田中 偉嗣	三谷貴美子	市原マサ子	
	福家 佳余	安部 心美	益田 順子	西 朱理	秋山 果菜	
	佐渡 佳子	横田 典子	吉川 正夫	安友 孝宣	三好 元子	
	妹尾 寛子	櫻木貴美子	梶浦 令賀	井元 京子	石田 理夏	
	井内 久子	折野 茂幸	上野 益代	岡本美津代	四宮 仁美	
	杉本 妙子	宮本 暁美	村部 幸子	柳本 真弓	北村 浩子	
	上田美千代	清水 宏子	木村 礼子	三谷 展子	松永 浩子	
	泉川真理子	森口 月美	佐野恵美子	三木 真紀	中野 愉美	
	谷本真由美	中西 克之	藤永 真里	斎藤 節子	田中 玲子	
	真田 秋江	桎原 知明	平田美香子	河野 永子	澤本 鈴美	
	籓 品子	野村 実礼	光山 実沙	深藪 美雪	手塚 浩美	
	河野久美子	吉平 順子	後藤 佳美	市原 美希	板東 亜美	
	稲木 裕美	山崎 真美	脇 博	吉田 幸代	三木 孝之	
	栗尾加代子	堀 弘子	田中 心杏	田中 七杏	戸村 実紗	
	深山 美貴	深山 寛子	沖田 章代	藤山真由里	阿部 千明	
	佐々 京子	近藤 美香	河見 忠信	美馬 英恵	安友 彰子	
	向井ひろみ	森本 裕子	野間 啓子	楠本 俊枝	鎌谷 幸代	
	仁木 輝実	堀江 孝己	森川のぞみ	畠山ゆかり	前田 珠里	
	田村 元帥	由宇 典代	香川百々花	京野 美鈴	佐竹 夏実	
	谷内 直美	佐野 陽子	恵美 恵子	野村佳余子	磯川 味佳	
	多田みどり	安丸 順子	伊達三智子	岩本 義浩	園尾 淑子	
	一宮 明美	島 智子	漆川 和美	寺澤 歩花	瀬山奈緒美	
	木村 昌代	小林 美紅	中田ゆかり	大東シズヨ (以上漢字)		
	内田美代子	吉村 敬子	仁木 史子	青木 幸代	横田雅夫	
	小林 義治 (以上篆刻)					

★ [ギャラリー賞] 安部 心美

仮 名

[審 査 員]	深瀬 裕之				
[特 選]	廣瀬 久代	加村喜美子			
[準 特 選]	向井 境子	松本由希子	内田 麻紀	坪井 佳代	
[奨 励 賞]	町田 哲子	和泉かず子	藤田美也子		
[入 選]	内田 道幸	吉岡 三枝	森本 明美	内田美代子	近藤真千子
	中村 公子	金子 博明	山本 恵子	賛田美恵子	山本 愛美
	倉本 節子	井上 彰夫	山本 美幸	宮崎 桂子	阿部 洋子
	阿部 亜希	梅山 麻美	野上 美紀	村上 洋子	安田希実子
	檜原 知義	小川美由紀	佐野 久美	本川 恵子	濱口須美子
	一ツ松真弓	豊岡真由美	仁井 和美	須本 恵子	梅山 眞澄
	高橋加奈子	吉田 純	井上 まり	背川 章子	板東 杏樹
	三宅 葉子	田岡佐記子	脇坂 優	中川 年代	寺尾 俊通
	大久保雅子	池内 愛美	住友 春子	三浦 俊子	馬地 理恵
	河野さち子	坂本 敬子	佐藤 佳子	村田登志子	森崎佐和子
	島田 利枝	斎藤 裕子	伊藤 秀子	笹田 真里	鈴江美音子
	岩佐 万葉	長野 勇輝	竹内 友里	三好 育子	濱口 恵
	平尾 卓美	今津 英子	篠賀 知代	森 真美	阿部 博子
	井上小百合	折野 佳子	杉本 裕子		

★ [ギャラリー賞]

近代詩文

[審 査 員]	加藤 有鄰				
[特 選]	今治 宏美	武田 淳子			
[準 特 選]	岸 緑	児玉 幸子			
[奨 励 賞]	岡崎 啓子	幸田 康代	佐藤 恵子		
[入 選]	長尾由美子	仁木シモエ	野田 満代	坂東 裕美	日野美佐子
	福山 啓子	藤本 優子	藤原 一子	正見 千恵	松村 雅子
	丸田 三恵	森田 廣子	森岡嗣雅子	森本 陽子	山本 勇
	横関久美子	吉田さい子	和田 悦代	和田富美子	朝三 和子
	荒井 弥和	生野 久美	石川 英郎	居和城幸代	遠藤玻都恵
	大井 多栄	大西 英子	大西千鶴子	小野 幸久	賀上 宏実
	檜山 正代	川端喜美子	川又 敏香	木田 史子	木内 典代
	金城 泰子	栗林 和江	栗山 弘子	小部 直子	坂尾 俊一
	清水 可琳	清水美津子	高橋美知江	武市 絢子	玉城 安和
	玉城 豪	富永美知子	藤村 良枝		

★ [ギャラリー賞]

	荒井 弥和				
--	-------	--	--	--	--

前 衛

[審査員] 加藤 有鄰

[準特選] 上田 優 島尾 明良

[奨励賞] 梶川 佳奈

[入選] 大胡恵里香 大胡 真美 前川わかな 仁尾 みや 水野 知子
 麻植塚由佳 藤本 智子 長崎 香 大西 英徳 安部 心美
 永井 厚子 相川 博美 石田 留美 岡本みつる 平山 恵子
 森本 浩恵 佐藤由紀代 中川 富量 義富 博正 大坂 昌代
 中川 博雅 木徳 英幸 中川 晶裕 嵯峨 京

★ [ギャラリー賞] 義富 博正

デザイン

[審査員] 永井 一史

[特別出品] 田中 一郎 坂野美恵子

[招待] 斎藤 繁次 敷島のり子 四十宮隆志 沢口 功 斎藤志津子
 斎藤 剛

[無鑑査] 佐藤あすか

[特選] 田中 公代 (四国放送社長賞)

海原 董

[準特選] 岡本 玲奈 岩佐 俊彦 信田 幸一

[奨励賞] 山野井宏宗 佐古 虎優 重清 嘉宏

[入選] 片山あかり⁽²⁾ 山本 七海⁽²⁾ 佐古 虎優 小倉 美音⁽²⁾ 山田 暖乃
 畑中 悠愛 平野 結菜 中村 姫菜⁽²⁾ 福原 成美 斎藤 信子⁽²⁾
 檜原 陽菜⁽²⁾ 坂本 玲奈⁽²⁾ 松島 早紀 戎野 裕二⁽⁴⁾ 福永 高志
 熊谷美智子 信田 幸一⁽²⁾ 大東かのん 田中 公代

★ [ギャラリー賞] 熊谷美智子

※一部異字体は略字になっています。

第 78 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫刻)	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		32	219	452	18	98	570	57	1446
出 品 者 数		30	174	132	16	76	346	33	807
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選	15	121	86	8	60	290	30	610
	計	23	135	107	13	69	325	38	710
	率	71.9%	61.6%	23.7%	72.2%	70.4%	43.0%	66.7%	49.1%
選 外	落 選	9	84	345	5	29	245	19	736
	率	28.1%	38.4%	76.3%	27.8%	29.6%	43.0%	33.3%	50.9%
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	1	3	2	2	2	14
	招 待	7	3	17	4	7	33	6	77
	無鑑査	1	1	3	0	1	4	1	11
	賛 助	0	1	0	0	0	0	0	1
	遺 作	1	1	1	0	0	0	0	3
	計	11	8	22	7	10	39	9	106
展示数		34	143	129	20	79	364	47	816

※ 各部門の特選数は特別賞を含む

第 78 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫刻)
搬入日	9月29日(日)	9月28日(土)	10月6日(日)	9月29日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月29日(日)	9月29日(日)	10月6日(日)	9月29日(日)
審査員	奥村 美佳	中山 智介	立木 義浩	望月 菊麿
出品料	美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと 注) 徳島県美術展日本画出品規定における額装の額とは、作品正面から見て一边の額幅が1.0センチメートル以上の木材又は金属で作られた外枠をいう 洋画 20号(72.7cm×50cm)～60号(130.3cm×97cm)までとする S型は30号(91cm×91cm)までを上限とし、版画は八つ切額(30.3cm×24.2cm)以上とする アクリル、ガラス等で画面を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも写真長辺が40cm以上90cm以内 スクエアサイズ(正方形)は一边が30cm以上60cm以内 組写真は90cm×180cm以内に作品を取めること 作品の固定(不安定な作品の場合受け付けが出来ない事もあります) 作品は必ずパネル貼り、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真のAIツールの使用作品は不可 濃度、コントラスト、色調補正、スポッティング、多重露出、比較明合成は可 組写真は作品の固定をして、吊り紐を付けること 高さ2×幅1.82×奥行1.5m以内、重量200kg以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日	9月29日(日)	10月4日(金)	10月6日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月29日(日)	10月5日(土)	10月6日(日)
審査員	福島 善三	山本 悠雲・深瀬 裕之・加藤 有郷	永井 一史
出品料	美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする ・作品は半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内とし、縦横自由とする (例) 2×8尺、2.6×6尺、3×5.3尺ほか ・表具は枠装(アクリルなし)とし、掛軸は不可 但し巻子・帖(縦40cm長さ300cm以内)は可 半切・全紙1/2・連箔までは額装(アクリル入り)でもよい 篆刻は印影とし、縦39cm横30cm以内の額装とする ・無鑑査・招待等の無審査作品は半切・全紙1/2以内、横90cm以内とする 次の部門に属し、自筆、自刻の作品とする ①漢字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前衛(文字を表現したもの) それぞれ積文をつけることとする B1サイズ(728×1,030mm)で厚さ5～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 画像生成AIを使用した作品は不可とする 吊り紐をつけることとする		

徳島県美術展審査員一覧

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	立 体（彫 刻） （46 回まで彫刻）
1	委 員	野間 仁根・家永騏三郎	委 員	
2	大栗 旌仸	野間 仁根	上田 備山	太田 三郎・坂東 文夫
3	委 員	伊原宇三郎	同 上	太田三郎・坂東文夫・鹿内芳洲
4	委 員	須田国太郎	同 上	同 上
5	上村 松篁	田村孝之介	小野 由行	太田 三郎・坂東 文夫
6	西山 英雄	伊藤 継郎	川崎亀太郎	同 上
7	山口 華楊	田川 勤次	棚橋 紫水	新田藤太郎
8	池田 遙村	須田 剋太	同 上	太田 三郎・坂東 文夫
9	水田 竹圃	小出 卓二	同 上	同 上
10	管 楯彦	鈴木信太郎・野間 仁根	同 上	同 上
11	奥村 厚一	井上長三郎	岩宮 武二	同 上
12	浜田 観	福沢 一郎	棚橋 紫水	同 上
13	小松 均	藤井令太郎	同 上	辻 晋堂・坂東 文夫
14	秋野 不矩	針生 一郎	岩宮 武二	針生 一郎
15	奥村 厚一	向井 潤吉	棚橋 紫水	管沼 五郎
16	同 上	吉原 治良	岩宮 武二	柳原 義達
17	松尾 冬青	中谷 泰	同 上	向井 良吉
18	矢野 鉄山	池島勘治郎	同 上	安田周三郎
19	中村 貞以	森 芳雄	堀内初太郎	堀内 正和
20	曲子 光雄	桂 ヌキ子	岩宮 武二	植木 茂
21	沢野 文臣	伊谷 賢蔵	同 上	佐藤 忠良
22	堂本阿岐羅	村井 正誠	同 上	辻 晋堂
23	松岡 政信	山下大五郎	同 上	井上 武吉
24	山崎 忠明	大沢 昌助	棚橋 紫水	菊池 一雄
25	奥村 厚一	斉藤 真成	同 上	原 武典
26	梶 喜一	島村三七雄	同 上	掛井 五郎
27	上原 卓	高田 誠	伊藤 知己	松村外次郎
28	黒光 茂樹	中間 冊夫	岩宮 武二	小畠 広志
29	松岡 政信	島田 章三	同 上	保田 春彦
30	黒光 茂樹	田中 岑	岩宮 武二	篠崎 明雄
31	河合 健二	田中 忠雄	同 上	江口 週
32	長谷川青澄	山口 長男	岩宮 武二・伊藤 知己	一色 邦彦
33	松岡 政信	吉井 忠	岩宮 武二・秋山庄太郎	柳原 義達
34	山岸 純	小西 保文	岩宮 武二	清水九兵衛
35	樋笠 数慶	荻 太郎	同 上	桜井 祐一
36	坂口麻沙子	吉井 淳二	岩宮 武二	土谷 武
37	下田 義寛	野見山暁治	同 上	山本 正道
38	同 上	須田 寿	高田 誠三	清水九兵衛
39	同 上	斉藤 真一	同 上	城田孝一郎
40	下保 昭	津高 和一	岩宮 武二・高田 誠三	清水 良治

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田中 白村	
同 上	炭山 南木	
同 上	炭山 南木・織田 子青	
同 上	手島 右卿	
鬼塚 信之・新田藤太郎	同 上	
鬼塚 信之	小坂 奇石	
明石 朴景	辻本 史邑	
会田 裕宣	織田 子青(漢)・出口 草露(仮)	
鴨 政雄	松 井 恕 流	
近藤 悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松 宏春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠	
大西 忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石 朴景	同 上	
平松 宏明	同 上	
大西 忠夫	同 上	
鴨 政雄	同 上	
平松 宏春	同 上	
内田 邦夫	同 上	
山脇 洋二	同 上	
槻尾 宗一	同 上	
山脇 洋二	荒井 天鶴・後藤 泰秀・田中 栢翠・富永 眉峰	
藤本 能道	同 上	
三井安蘇夫	同 上	金野 弘
六角 顯雄	同 上	大智 浩
鈴木 貫爾	同 上	早川 良雄
田村 耕一	同 上	原 弘
山脇 洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
浅野 陽	同 上	奥野 秀雄
前田 泰次	同 上	灘本 唯人
山脇 洋二	同 上	大高 猛
中村 光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田 繁雄
山脇 洋二	同 上	永井 一正
田村 耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・西岡楚峰	山城 隆一
同 上	同 上	粟津 潔
山下 恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
同 上	同 上	長友 啓典
浅野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀倉 雄策

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	立 体 (彫 刻) (46 回まで増設)
41	橋田 二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井 敏夫
42	松本 哲男	国領 経郎	岩宮 武二	木津 一夫
43	山岸 純	利根山光人	三木 淳	橋本 省
44	平川 敏夫	赤穴 宏	高田 誠三	山崎 猛
45	福井 爽人	桜井 寛	三木 淳	土谷 武
46	岩沢 重夫	大森 朔衛	同 上	峯田 敏郎
47	穂田 一穂	谷本 重義	立木 義浩	小島 弘
48	田淵 俊夫	大沼 映夫	杵島 隆	建畠 覚造
49	中路 融人	馬越 陽子	同 上	綿引 道郎
50	下田 義寛	三栖 右嗣	奈良原一高	古島 実
51	工藤 甲人	中根 寛	斉藤 康一	恩田 静子
52	那波多目功一	松樹 路人	細江 英公	石井 厚生
53	那須 勝哉	藤田 吉香	高田 誠三	香浦 有爾
54	内田あぐり	奥谷 博	同 上	小林陸一郎
55	松尾 敏男	佐々木 豊	大石 芳野	日原 公大
56	山崎 隆夫	大津 英敏	同 上	石黒 鏘二
57	岩本 和夫	山本 貞	細江 英公	原 武典
58	大矢 紀	福島 瑞穂	江成 常夫	菅原 二郎
59	竹内 浩一	中山 忠彦	大石 芳野	米林 雄一
60	小嶋 悠司	絹谷 幸二	江成 常夫	北郷 悟
61	宮廻 正明	山本 文彦	同 上	鈴木 久雄
62	能島 和明	島田 鮎子	英 伸三	中垣 克久
63	雲丹亀利彦	桜井 寛	田沼 武能	林 武史
64	西田 俊英	塗師祥一郎	同 上	津田 裕子
65	岡村 倫行	金山 佳子	三好 和義	建畠 朔弥
66	宮 いつき	大津 英敏	江成 常夫	深井 隆
67	小山 硬	笠井 誠一	大石 芳野	湯村 光
68	土屋 禮一	佐藤 泰生	同 上	保田井智之
69	上村 淳之	池田 清明	織作 峰子	村井 進吾
70	中島 千波	堀 研	江成 常夫	三沢 厚彦
71	中野 嘉之	久野 和洋	三好 和義	木戸 修
72	村岡貴美男	森本 勇	大西みつぐ	國安 孝昌
73	西久松吉雄	室越 健美	大石 芳野	井田 勝己
74	宮北 千織	湯山 俊久	立木 義浩	黒川 弘毅
75	國司 華子	平岡 靖弘	同 上	常松 大純
76	小西 通博	川村 悦子	ハービー・山口	西野 康造
77	北田 克己	山中 宣明	同 上	小井土 満
78	奥村 美佳	中山 智介	立木 義浩	望月 菊麿

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
中村 光哉	明石 春浦・坪井 正庵	伊藤 憲治
浅野 陽	桜井 琴風・黒野 清宇	サイトウ・マコト
山下 恒雄	大岡 皓崖・山田 伍雲・西野 象山	佐藤 晃一
三浦小平二	花田 峰堂・小山 素洞・東地 滄厓	河北 秀也
松永 勲	浅見 綿龍・森本 妙子・加藤 大碩	松永 真
山下 恒雄	近藤 摂南・東山 一郎・中野 北溟	浅葉 克己
島田 文雄	谷村 憲齋・植村 和堂・太田 義久	勝井 三雄
大西 長利	安原 皐雲・池田 桂鳳・金子 卓義	五十嵐威暢
山下 恒雄	鈴木 桐華・西本 支星・金子 聴松	青葉 益輝
島田 文雄	尾崎 邑鵬・井茂 圭洞・大井 錦亭	松永 真
中井 貞次	栗原 蘆水・榎倉 香邨・種谷 扇舟	安西 水丸
栗木 達介	甫田 錫川・小山やす子・石飛 博光	U. G. サトー
宮田 亮平	杭迫 柏樹・藤木 正次・吉田 成堂	早川 良雄
松永 勲	津金 孝邦・池田 桂鳳・松永 暘石	戸田 正寿
竹内 順一	田中 節山・村上 俄山・黒田 玄夏	杉浦 康平
栗木 達介	宮崎 葵充・赤江 華城・金子 卓義	秋山 孝
中井 貞次	星 弘道・宮重 小蘭・西野 象山	遠藤 享
島田 文雄	吉川 蕉仙・清水 透石・作田 英嗣	中村 誠
竹内 順一	岩井 韻亭・光宗 道子・大井 錦亭	小島 良平
宮田 亮平	伊藤 天游・井茂 圭洞・田岡 正堂	永井 一正
島田 文雄	稲垣 稔圃・横山 煌平・船本 芳雲	新島 実
増村紀一郎	樽本 樹邨・東山 一郎・辻元 大雲	三木 健
石川 充宏	真神 巍堂・前島 泉洲・長谷川牧風	松井 桂三
竹内 順一	鈴木 春朝・山本 高邨・砂本 杏花	河北 秀也
山下 了是	大河内仙嶽・師田 久子・飯高 和子	勝井 三雄
大樋 年朗	土井 汲泉・舟尾 圭碩・百瀬 大蕪	佐藤 晃一
宮田 亮平	西村 自耕・岩永 栖邨・西野 象山	新村 則人
豊福 誠	今村 桂山・横山 煌平・森本 龍石	福島 治
若山 裕昭	渡部 清・田頭 一舟・鈴木まつ子	秋山 孝
山下 義人	鬼頭 墨峻・吉川美恵子・小竹 石雲	伊藤 豊嗣
中井 貞次	西嶋 慎一・山根 互清・渡部 會山	松下 計
若山 裕昭	新井 光風・村上 俄山・室井 玄尊	杉崎真之助
島田 文雄	伊藤 一翔・岡田 直樹・井之上南岳	川上 佳代
大樋 年雄	吉澤 鐵之・高木 厚人・永守 蒼穹	居山 浩二
山下 義人	真神 巍堂・舟尾 圭碩・鈴木 不倒	対馬 肇
宮田 亮平	高木 聖雨・近藤 浩平・奈良 尚石	新村 則人
山岸 大成	星 弘道・田頭 央洩・加藤 裕	福島 治
福島 善三	山本 悠雲・深瀬 裕之・加藤 有鄰	永井 一史

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、立体（彫刻）、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

（注）① 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

- ② 75回展以降の奨励賞については2回の取得をもって準特選1回として扱う。
なお無鑑査を得る場合の上記(3)及び(4)の回数計算において余分な奨励賞が算出された場合は切り捨て（無効）とし、無鑑査を超えての算入はしない。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。
- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。天災や審査員の特別な事情で審査が行えない場合は各部会の運営委員が運営委員長と協議の上、新たな審査員を決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳島県美術家協会会長賞	3	3以内	規定数
洋 画	3	徳 島 県 知 事 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 県 議 会 議 長 賞	9	8 "	"
立体（彫刻）	1	徳島県教育委員会教育長賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳 島 市 長 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 新 聞 社 長 賞	14	13 "	"
デザイン	2	四 国 放 送 社 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、記念品
2. 準 特 選……賞状、記念品
3. 奨 励 賞……賞状
4. 入 選……賞状
5. ギャラリー賞……賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料

3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金
5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目5,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 高校生の出品料は、1点目2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点4,000円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 800 円 | 当日 1,000 円 |
| 2. 高 校 生 | | 無料 |

第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日	一部改正
平成4年5月16日	一部改正
平成8年5月25日	一部改正
平成11年5月14日	一部改正
平成13年5月30日	一部改正
平成14年9月25日	一部改正
平成17年6月14日	一部改正
平成18年4月11日	一部改正
平成23年2月20日	一部改正
平成24年2月24日	一部改正
平成25年8月20日	一部改正
平成26年8月6日	一部改正
平成27年2月18日	一部改正
令和3年3月1日	一部改正
令和5年3月2日	一部改正

第20回徳島県こども美術展



〈徳島県知事賞〉
松茂中学校
3年 北岡 優乙



〈徳島県知事賞〉
半田小学校
5年 岡 結子

一般展 特別賞

賞	絵 画	書 写
徳島県知事賞	松茂中学校 3年 北岡 優乙	半田小学校 5年 岡 結子
徳島県議会議長賞	大松小学校 6年 久保聡聡亮	半田小学校 4年 鎌倉 歩生
徳島県教育委員会教育長賞	佐古小学校 3年 佐藤 絆奈	半田中学校 3年 坂本 理紗
徳島市町村教育委員会 連合会会長賞	徳島文理小学校 6年 勢井真由子	美馬小学校 1年 薦田 弦
徳島県美術家協会会長賞	北島中学校 3年 藤井みのり	池田中学校 2年 尾脇信太郎
徳島新聞社長賞	石井小学校 4年 藤本 華帆	板野南小学校 6年 岡田 唯愛

特別企画展 特別賞

【絵 画】

堀江 花符(津田小1) 岩浅 晴(富岡小2) 齋藤 聖渚(鳴教大附小3) 伊勢 巧都(助任小4)
米澤有梨奈(鳴教大附小5) 和田 実結(新町小6) 平瀬 明咲(鳴門市第一中1) 馬淵 天希(鳴教大附中2)
吉岡 梨愛(藍住東中3)

【書 写】

鎌田 啓央(鳴教大附小1) 篠原 丈侍(脇町小2) 横田 涼平(江原南小3) 細川 実桜(鳴門市第一小4)
向井 千夏(鳴教大附小5) 尾脇 舞(池田小6) 師水 咲和(半田中1) 保井 志織(国府中2)
鎌倉 花風(半田中3)



表彰式



審査風景



会場風景



第20回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月10日(木)～10月14日(月)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 3,008人

出品・入選等状況

【絵画部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作
小 学 生	1年	563	2	2	26	32	62	11.01	44	318	1	5	7	13	4.09	20
	2年	573	2	2	24	27	55	9.60	58	323	1	4	10	15	4.64	29
	3年	613	2	2	14	25	43	7.01	75	306	1	11	8	20	6.54	32
	4年	514	2	2	12	19	35	6.81	65	268	1	6	12	19	7.09	27
	5年	489	2	2	11	17	32	6.54	42	275	1	7	11	19	6.91	19
	6年	485	2	2	19	28	51	10.52	48	239	1	4	14	19	7.95	16
中 学 生	1年	193	2	2	17	19	40	20.73	20	82	1	7	8	16	19.51	0
	2年	212	2	2	11	14	29	13.68	21	81	1	5	7	13	16.05	0
	3年	152	2	2	9	18	31	20.39	29	38	1	4	9	14	36.84	0
計		3,794	18	18	143	199	378	9.96	402	1,930	9	53	86	148	7.67	143

【書写部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作
小 学 生	1年	267	2	2	9	20	33	12.36	28	206	1	6	15	22	10.68	22
	2年	439	2	2	14	40	58	13.21	45	473	1	14	42	57	12.05	52
	3年	906	2	2	28	58	90	9.93	94	639	1	20	37	58	9.08	61
	4年	900	2	2	29	55	88	9.78	95	758	1	23	48	72	9.50	76
	5年	707	2	2	22	53	79	11.17	73	674	1	21	50	72	10.68	71
	6年	645	2	2	20	48	72	11.16	69	932	1	28	69	98	10.52	98
中 学 生	1年	268	2	2	8	27	39	14.55	35	307	1	9	30	40	13.03	41
	2年	240	2	2	7	24	35	14.58	29	392	1	12	44	57	14.54	49
	3年	186	2	2	6	15	25	13.44	25	200	1	6	20	27	13.50	18
計		4,558	18	18	143	340	519	11.39	493	4,581	9	139	355	503	10.98	488

各部記録

2024 年（令和 6 年）1 月～12 月

日 本 画 部

部 会 長 岡 英 彦

年間展望

◎第 30 回放美展 (5 月 3 日～5 月 6 日 あわぎんホール)

応募点数は 27 点の出品があり、昨年より 6 点増えて、明るく力強い作品が多かった。その中から入選 16 点、入賞 3 点、計 19 点を選んだ。放美賞の西田江美さん「晩秋」は、色彩が美しく、作者独自の世界を感じる。優秀賞の宮崎英子さん「輪舞」は、色彩を上手くまとめていた。四国大学賞の盛山陽加さん「あとちょっと」は、高校生らしい、みずみずしい感覚の作品。惜しくも選に漏れた中にも、作者の信念を感じさせる魅力的な作品も数多くあった。30 回記念として以下の方が特別展示された。(西野和男、日浦猛史、坂容子、柳田一子、富永博子)

審査員 (岡英彦・土方るみ子・中西芳雄)



放美展会場

◎第 78 回徳島県美術展 (10 月 9 日～14 日 あわぎんホール)

今回の審査は京都市立芸術大准教授の奥村美佳先生にお願いした。応募点数は 32 点で、その中から特別賞 (徳島県美術家協会会長賞) 1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 23 点を選んだ。特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

徳島県美術家協会会長賞の後藤田実「雨降りあとの散歩道」は、雨上がりのしっとりとした印象や空気がダイレクトに伝わって来る。特選の久保慎宙「トップノート」は、廃車のバスを細部まで細かく描いて、作者の独自の世界を表現している。

特別 2、招待 7、無鑑査 1、遺作 1、入選・入賞 23 の計 34 点を展示した。



県展審査



県展審査



県展会場



県展ギャラリートーク

会員消息 (月別)

- | | | |
|----|---------------------------------------|----------------------|
| 2月 | 第52回徳島市芸術祭美術展 | シビックセンターギャラリー |
| | 西野和男(審査員出品)・土方喜美子(特別出品)・鈴木恵子(招待)・西田江美 | |
| | 森本秀代美術作品展 | 阿波銀プラザ 森本秀代 |
| 3月 | 岡英彦日本画展 | 徳島市民病院 TMH ギャラリー 岡英彦 |

	日本画講座作品展	カルチャーセンター徳島	
		土方喜美子（賛助出品）・土方るみ子（賛助出品）	
	玄関ホール サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
	コミュニティカレッジ前期講座生展	ふれあい健康館	土方るみ子（賛助出品）
	第 64 回日本南画院展 東京展	東京国立新美術館	藤井瑞雲
4 月	第 8 回新日春展	東京都美術館	土方るみ子・梶浦千瑞
5 月	第 63 回阿南市春季美術展	阿南市文化会館	植田忠生
	第 60 回溪生社水墨画展	あわぎんホール	久保守近
6 月	玄関ホール サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
	第 64 回日本南画院展 大阪展	宝塚市立文化芸術センター	藤井瑞雲
	第 10 回女子美術大学同窓会徳島支部展		
		HIRAOKA ギャラリー	土井洋子・森本秀代
7 月	第 64 回日本南画院展 京都展	京都市京セラ美術館	藤井瑞雲
8 月	第 7 回日美展	東京国立新美術館	新居左よ子
	アスタリスク展 徳島県立近代美術館 1 階ギャラリー		梶浦千瑞
	第 49 回鴨島文化サロン展	鴨島本郷ビル	藤井吉信
	徳島県立川島高等学校卒業生美術展	吉野川市文化研修センター	藤井吉信
	第 25 回光琳水墨画合同展	阿波銀プラザプラザ	新居左よ子
9 月	コミュニティカレッジ後期講座生展	ふれあい健康館	土方るみ子（賛助出品）
10 月	玄関ホール サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
	2024 年度日本南画院選抜金沢展	金沢 21 世紀美術館	藤井瑞雲
	第 82 回有秋会日本画展	ナルミヤ戎橋画廊	藤井瑞雲
	阿南カルチャーセンターグループ展	よんでんエネルギープラザ阿南	植田忠生
	現代水墨画合同展	よんでんエネルギープラザ阿南	新居左よ子
11 月	第 11 回日展	東京国立新美術館	土方るみ子
	反田卓美術作品展	鳴門市ドイツ館	反田卓
	第 53 回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	植田忠生
	朱泥会・回顧展	阿波銀プラザ	斎藤久代
	坂容子展	シビックセンターギャラリー	坂容子
	第 43 回徳島県高等学校総合文化祭 教員展示		
		あわぎんホール	大久保楨宙
	第 27 回溪生社水墨画小品展	阿波銀プラザ	久保守近
	第 14 回徳島女流美術展	シビックセンターギャラリー	
		土方るみ子・土井洋子・柳田一子・石原千鶴・斎藤久代・宮越千佳	
	第 33 回田野全国水墨画展	田野町ふれあいセンター	新居左よ子
	2024 とくしまねりんピック美術展	あわぎんホール	西田江美
12 月	富永博子日本画展	徳島市民病院 TMH ギャラリー	富永博子
	山川公民館祭作品展	山川地域総合センター内 山川公民館	藤井吉信
	後藤田実 日本画とスケッチ展	吉野川市文化研修センター ロビー	後藤田実
	第 53 回歳末チャリティー美術展	アミコ東館 6 階催事場	岡英彦・久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

◎第30回放美展 会期：5月3日～5月6日 場所：あわぎんホール

128点出品で94点の入選入賞、入選率73%、出品者数では121人で94人の入選入賞、入選率78%で例年よりは入選率が3%ほど少なくなりました。前年度の入選数が多く、2段掛けになりましたので1段掛けをするために入選数を絞った結果です。審査員は嵯峨潤三、大西文代、平木美鶴の3名での審査でした。最初に複数作品を1点に絞り込んでから入選・落選を決めました。その後に賞候補を15点決定してから放美賞、優秀賞、四国大学賞の7作品が決定されました。今回、放美賞1名、優秀賞2名、四国大学賞1名の計4名が高校生でした。どれも緻密な写実作品であり高校生の描写力の向上が目立っていましたので、これからの成長が楽しみです。また、賞候補の作品はあと一步で賞となる秀作ばかりでしたので、次回が楽しみです。

以下が賞候補となった方の氏名です。

(受賞者は除く) 宮内一子、福本 恵、黒島貞子、吉田賀代子、今井雅省、浜中優那、吉田実萌花、田中ももか



搬入作業



放美展洋画部展示風景

◎第 37 回洋画部会員展 会期：7 月 18 日～7 月 21 日 場所：あわぎんホール A 展示室

今回の会員の出品者数は 61 名でした。出品者数は少し減りましたが作品の質は良かったと思いました。会期中には嵯峨、大西、平木の 3 人でギャラリートークを開催しました。作者の制作意図を聞いてから 3 人でそれぞれ思った事を話しました。質問などもあり活発な会となりました。入場者数は 249 名で昨年より少し増えています。会期中は暑い日が続いていましたが多くの方々にご覧いただけました。

事務局：遠藤誠一、会計：杉本祥子、監事：佐藤敬子



◎第 78 回県美術展 会期：10 月 9 日～10 月 14 日 場所：あわぎんホール

出品者数は 174 人、出品数 219 点で前回より出品者数は 14 人減り、出品数は 13 点減りました。審査の結果 135 点の入選（入賞も含む）でした。出品数からの入選率は 62% で昨年より 5% 入選率が高くなっています。審査員は国画会会員の中山智介先生をお迎えしました。今回の審査は昨年に続き公開で行いました。審査はこれまでの審査にはないユニークなものでアクティブに動き回り作品の気になるところがあれば公開審査に来ている方々に分かりやすく説明するなど楽しく勉強になる審査でした。厳選の上、選ばれた入選作から 42 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思いました。また、今回も受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。榊田務と平木美鶴でギャラリートークを開催しましたが、多くの方々の参加があり有意義な時間となりました。



県展審査風景



洋画部展示風景



ギャラリートーク

以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

坂東優、大津憲文、川上晴美、宮崎富美子、中野苺梨、松尾心々菜、竹原杏、松本瑞生、田村秀子、竹原良亮、今井雅省、久保和子、舟崎久彩子、米田恵美子、大坪潤一郎、二條均、杉本祥子、遠藤誠一、宮田京子、加川由紀子、藤本千秋、高橋味由、上田優、高橋幸二、森本一弘、坂東悦子、竹田多美子、麻植哲司

会員消息

- 青木 幸子 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第21回展（阿波銀プラザ）
- 東 紀美子 波の会2024（那賀川図書館ギャラリー）、徳島アート21第21回展（阿波銀プラザ）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第63回阿南市美術展、第53回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 伊勢 浩章 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第21回展（阿波銀プラザ）
- 伊勢谷昭博 第52回絵で見る徳島展（あわぎんホール）、第53回記念歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）、ふるさとを描き残す会（徳島城博物館）
- 乾 繁春 第20回高松絵画美学展（高松市美術館）、第14回鳴門水彩美学展（キョーエイなると駅前ギャラリー）、第98回国展（国立新美術館）、第59回関西国展（京都市京セラ美術館）、第82回世代美術展（徳島市シビックセンター）、徳島絵画美学会サムホール展（蔵のカフェ・モリ）、第16回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 岩井 千晴 徳島アート21第21回展（阿波銀プラザ）
- 岩井 春美 個展（阿波銀行福島支店ギャラリー）
- 今井 雅省 第83回美術文化展（都美術館）、美術文化徳島支部展・第79回青美展（阿波銀プラザ）、第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、寄り合い作品展（阿波和紙伝統産業会館）、第36回全国健康福祉祭美術展（境港市民交流センター）、第30回徳島県健康福祉祭美術展（阿波銀ホール）、第43回上野の森美術大賞展（上野の森美術館）、第88回香川県美術展（香川県立ミュージアム）
- 宇高 桂子 第77回女流画家協会展（都美術館）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第10回女子美術大学同窓会徳島支部展（HIRAOKA ギャラリー）
- 遠藤 誠一 個展（ギャラリー喫茶グレイス）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、第21回徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 越久 高照 第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 岡田 君代 第77回示現会展（国立新美術館）、第55回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第79回青美展・第77回示現会全国巡回徳島展・第37回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 小笠原秋子 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、三野町文化祭（三野町体育館）、なつかしのレトロ市（三野町図書館2階交流スペース）
- 小倉満智子 第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第6回小倉満智子個展（花杏豆八万店）、第3回植物画同好会「やまもも」展・第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第51回近代日本美術協会展（都美術館・新人賞）、第3回近代日本美術協会大阪支部展（ギャラリーミウラ）、第39回近代日本美術協会関西展（宝塚市立文化芸術センター）
- 大西 文代 第41回青彩美術・第49回あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 大西利津子 春季徳島二紀展（アートギャラリーグレイス）、第 38 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 77 回二紀展（国立新美術館）、第 21 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第 52 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 大津 恵文 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 63 回阿南市春季美術展（阿南市文化会館）、徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）、波の会 2024（阿南市立那賀川図書館ギャラリー）
- 大坪潤一郎 第 7 回土日会 7 月展（新宿ギャラリー絵夢）、第 49 回土日会展（国立新美術館）、第 12 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（ギャラリー M&M）
- 大南 芳子 第 12 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 加川由紀子 第 77 回女流画家協会展（都美術館）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 21 回展・第 12 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 河本多恵子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 河野 博匡 第 12 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 川人 健司 洋画 3 人展（櫻ギャラリー）、第 52 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 北村 照子 第 52 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 44 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 56 回故郷を描き残す会（あわぎんホール・徳島城博物館ホール）、八紅会小品展（田岡病院ギャラリー）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 久保 和子 第 82 回世代美術展・第 16 回徳島絵画美学展（シビックセンター）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 近藤 克子 第 11 回日展（国立新美術館）、第 90 回東光展（都美術館）、第 14 回徳島女流美術展（シビックセンター）、鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、石井美術の会（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 38 回八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 小浜 敏也 徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 63 回阿南市美術展、第 53 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、アスタリスク展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 佐藤 敬子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 79 回青美展（阿波銀プラザ）、第 82 回記念世代美術展・第 16 回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 嵯峨 潤三 徳島アート 21 第 21 回展・第 21 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西條 敏夫 第 35 回現代パステル協会展（都美術館・京セラ美術館）、個展（阿波銀行鴨島支店）、第 46 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 四宮 久子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（ギャラリーグレイス）、第 38 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 77 回二紀展（国立新美術館）、第 16 回春季二紀展（都美術館）

- 志摩 政照 第20回総合美術展・第45回鴨島美術グループ（吉野川市文化研修センター）
- 篠原佳代子 第37回昭和美術会同人選抜作家展（京都府立文化芸術会館）、第50回昭和美術会展（京都市京セラ美術館）、第53回昭和美術会京洛ミニチュア作品展（京都ギャラリーきむら）、第3回ナイーブ水彩画3人展（板野カフェブリッサ）、第16回徳島絵画美学展・第14回徳島女流美術展・第8回昭和美術会徳島巡回選抜展（シビックセンター）、第53回歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）
- 清水 政吉 第54回石井美術の会作品展・第37回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 島上 二郎 第11回日展（国立新美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第90回東光展（都美術館）
- 島津 千尋 第50回自由美術展香川（善通寺美術館）、第88回自由美術展、第12回KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 杉本 祥子 第77回女流画家協会展（都美術館）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第21回展・第21回徳島版画展（阿波銀プラザギャラリー）、個展（眉峰ギャラリー）
- 鈴木 良治 ART FUTURE 展（台北）、個展・春季徳島二紀展（アートギャラリーグレース）、FuchengGathering 展（台南）、空間の魔術師展（台北）、第38回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、個展（大阪高島屋美術画廊）、第77回二紀展（国立新美術館）、第91回日本版画協会展・第16回春季二紀展（都美術館）、第21回徳島版画展（阿波銀プラザ）、個展（M&M）、ART TAIPEI 2024（台北ワールドトレードセンター）、Flat2024 展（ギャラリー誠文堂）、台日創作合同展（台北 George House）
- 鈴木 敬子 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第46回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、徳島アート21第21回展（阿波銀プラザ）
- 谷 慎也 第55回土曜会（シビックセンター）、第35回現代パステル協会展（都美術館・京セラ美術館）、第79回青美展（あわぎんホール）、第3回三人展（ブリッサ）、第53回歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）
- 竹原 良亮 第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 田村 秀子 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第15回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 田中 敏雄 第52回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第85回一水会（都美術館）
- 武田 洋子 第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、第15回徳島絵画美学展（シビックセンター）、春風展（三好教育センター）
- 近清 哲夫 水彩画展（ギャラリーカフェブリッサ）、坂野美恵子グループ展（四国大学中央棟1階ロビー）
- 手塚てる子 第98回国展（国立新美術館）、第37回洋画部会員展（あわぎんホール）、夢のホライズン5人展・個展（アートギャラリーグレイス）、個展（ギャラリーカフェグレイス）、第21回徳島版画展（阿波銀プラザ）

- 中村 俊夫 第77回示現会展(国立新美術館)、第77回示現会徳島巡回展・第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、第55回示現会徳島支部展・第12回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)
- 中辻奈美枝 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、第63回阿南市春季美術展・第53回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)、徳島アート21第21回展(阿波銀プラザ)、波の会2024(阿南市立那賀川図書館ギャラリー)
- 西 富美 第4回埼玉独立小品展(埼玉ギャラリー彩光舎)、2024独立春季新人選抜展(都美術館)、第29回仮面早展・CoCo祭展(東京銀座ギャラリーGK)、第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、第22回埼玉独立展(埼玉県立近代美術館)、第91回独立展(国立新美術館)
- 西川 敬子 第80回関西水彩画展(江之子島文化芸術創造センター)、第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第21回展(阿波銀プラザ)、徳島女流美術(シビックセンター)
- 西川 周三 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第21回展(阿波銀プラザ)
- 野口 暁子 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、第44回八紅展(阿波銀プラザ)
- 野上 恵子 第37回洋画部会員展・ふるさとを描き残す会(あわぎんホール)、第44回八紅会展(阿波銀プラザ)
- 原 たず 第49回あわ洋画ぐるーぷ・第41回青彩美術合同展(シビックセンター)、たずの花展(森珈琲店)
- 坂東 悦子 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、吉野川市阿波市二市交流展(吉野川市文化研修センター)、阿波市文化祭・阿波美術の森作品展(アエルワホール)、第48回旺玄会徳島支部展(阿波銀プラザ)、寄り合い作品展(阿波和紙伝統産業会館、アワアート展(市場郵便局))
- 坂東 弘子 第12回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)
- 林 伸也 徳島県立川島高等学校卒業生美術展(吉野川市立文化研修センター)
- 林 敏雄 個展(ギャラリー喫茶グレイス)
- 林 信夫 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 林 静代 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第21回展(阿波銀プラザ)
- 日野 邦恵 東光会徳島支部展(あわぎんホール)、第90回東光展(都美術館)、洋画4人展(ギャラリーカフェブリッサ)、第46回鴨島美術グループ展・総合美術展(吉野川市文化研修センター)、土成アート展・洋画二人展シーズンⅡ(鴨島花杏豆)、洋画4人展(風の庵ギャラリー)
- 平木 美鶴 第37回洋画部会員展(あわぎんホール)、春季徳島二紀展(アートギャラリーグレイス)、第38回徳島二紀展(徳島県立近代美術館ギャラリー)、第77回二紀展(国立新美術館)、第21回徳島版画展(阿波銀プラザ)、第52回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第67回CWAJ現代版画展(代官山ヒルサイドフォーラム)、第91回日本版画協会展・第16回春季二紀展(都美術館)、個展(ギャラリーあじさい神戸)、個展(高島屋大阪店美術画廊)、個展(高島屋横浜店美術画廊)

- 平野 幸子 第 37 回洋画部会員展・第 55 回示現会徳島支部展（あわぎんホール）、第 12 回洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 藤井 香世 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 12 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 藤丸 家栄 徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）
- 藤本 誠子 第 77 回示現会展（国立新美術館）、第 77 回示現会徳島巡回展・第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 福良 哲子 第 37 回洋画部会員展・絵で見る徳島展（あわぎんホール）、第 44 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 98・99 小松島市美術展（中央会館）、北小松島公民館文化祭（北小松島公民館）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 真鍋 弘子 徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）、八木和彦教室展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 前川フキ子 徳島アート 21 第 21 回展（阿波銀プラザ）
- 前川 富子 第 54 回石井美術の会作品展（あわぎんホール）、美術文化徳島支部展（阿波銀プラザ）、世代美術展・絵画美学展（シビックセンター）
- 前野 亮治 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 尚子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 19 回二市絵画交流展・第 46 回鴨島美術グループ展・第 20 回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
- 栴田 務 退職校長会生きがい展・第 80 回東光会徳島支部展・第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 52 回徳島市芸術祭美術展・チャリティ色紙展（シビックセンター）
- 眞野 尚枝 第 85 回一水会（都美術館）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、セルクル美術展（京都市文化芸術会館）、Style16 + グループ展 2024（FRAME in Vo X）
- 三沢 尚子 三沢尚子水彩画集刊行記念展（シビックセンター・ギャラリー M&M）
- 美浪 恵利 第 37 回洋画部会員展・第 63 回現代洋画秀作展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（アートギャラリーグレイス）、第 38 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 77 回二紀展（国立新美術館）、第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 61 回太陽展・第 63 回ミニヨン展（日動画廊銀座）、視点一次世代を担う作家たち（西武池袋本店）、Art Seasonat Iwataya Mitsukoshi（福岡三越）、第 16 回春季二紀展（都美術館）
- 峯 幸子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 87 回新制作展（国立新美術館）、第 87 回新制作京都展（京セラ美術館）、第 52 回む・アート展（阿波銀プラザ）
- 簗手日登美 二科京滋支部展（京都府立文化芸術会館）、第 80 回世代美術展・第 14 回徳島女流美術展（シビックセンター）、第 49 回鴨島文化サロン展（手作りの店本郷）、第 108 回二科展（国立新美術館）
- 山口美千代 第 37 回洋画部会員展・第 78 回青美展（あわぎんホール）、三好市文化まつり（三好市公民館）
- 結城 栄子 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 52 回む・アート展（阿波銀プラザギャラリー）
- 横畠 寛 第 37 回洋画部会員展（あわぎんホール）

写真部

部会長 上野 照文

年間展望

◎第30回放美展（5月3日（金）～6（月）あわぎんホール）

審査員上野照文、増田寿、堀口幸男の3人で4月29日に行われた。出品人数79名出品点数186点。この中から放美賞1点、優秀賞7点、四国大学賞1点、入選113点が選出された。



放美展審査風景

◎第78回県美術展（10月16日（水）～21（月）あわぎんホール）

4年振りで立木義浩先生を迎えて10月6日に行った。出品人数132人応募点数452点。この中から特選4点、準特選9名、奨励賞8点、入選86点が選出された。



県展審査風景



県展審査風景



ギャラリートーク

◎写真部撮影会

今年の撮影会を6月30日奈良公園を中心に行われました。参加者31名バス1台で行き心配された天気も良い方に変わり有意義な1日を過ごした。



写真部撮影会 2024年6月30日奈良東大寺周辺

会員訃報

長年写真部の会計を担って戴いた田村泰弘（71才）さんが2024年5月1日逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

会員消息

- ◎第 58 回日本光画会写真展 (1 月 18 日 (水) ~ 21 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 喜多昌弘・林 好一
- ◎第 39 回全日本写真連盟本部写真展 (1 月 26 日 (金) ~ 28 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治
岡本早苗・賀川康廣・岸田義市・喜多昌弘・近藤博之・野藤みきよ・橋本圭祐
林 敏彦・板東泰雄・姫野博司・廣野美知子・福井純子・福田 勉・宮本幸治
森 賢一・森内昭男・森住 博
- ◎第 84 回国際写真サロン (2 月 5 日 (月))
入賞者: 岡本早苗
- ◎第 13 回写団「北極星」写真展 (2 月 14 日 (水) ~ 25 日 (日) 板野町ギャラリーカフェブリッサ)
出品者: 岩崎英昭・賀川泰廣・谷ひづる
- ◎第 18 回日本風景写真協会徳島支部展 (3 月 1 日 (金) ~ 3 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 岩崎英昭・板東よしお・吉田隆之・住友 登
- ◎第 5 回「美しい徳島」岩崎英昭作品展 (3 月 27 日 (水) ~ 4 月 1 日 (月) 徳島市シビックセンター)
- ◎木田写真クラブ写真と短歌 (3 月 31 日 (金) ~ 4 月 2 日 (日) 徳島県立近代美術館ギャラリー)
出品者: 木田英之・喜屋武美沙子・林 好一
- ◎第 7 回徳島新光会写真展 (4 月 5 日 (金) ~ 7 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 住友 登・三木理司・三谷美津子・光井雅巳・森 賢一
- ◎第 21 回 UNIT-D 写真展 (4 月 5 日 (金) ~ 8 日 (月) 徳島市阿波銀プラザ)
出品者: 井上憲治・上野照文・熊谷美智子・高橋一恵・多川静守・野口佳一・橋本圭祐
林 敏彦・堀口幸男・増田 寿
- ◎第 40 回サンカ会写真展 (4 月 20 日 (土) ~ 22 日 (月) 徳島市シビックセンター)
出品者: 田中伸廣・橋本圭祐・森内昭男
- ◎第 46 回写真同人「炎」写真展 (5 月 10 日 (金) ~ 12 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・土橋成行・野口佳一
林 敏彦・廣野美知子・堀口幸男・森 賢一
- ◎徳島城阿波踊り作品コンクール (6 月 7 日)
入賞者: 近藤博之・二階博司
- ◎第 29 回土門拳文化賞受賞記念川真田慶治写真展 (7 月 5 日 (金) ~ 7 日 (日) 徳島市阿波銀プラザ)
- ◎剣山・私の一枚写真展 (7 月 3 日 (水) ~ 14 日 (日) 板野町ギャラリーカフェブリッサ)
出品者: 岩崎英昭・木田英之・住友 登・谷ひづる・吉田隆之
- ◎第 2 回県美術家協会写真部会展 (7 月 5 日 (金) ~ 7 日 (日) 徳島市阿波銀プラザ)
出品者: 秋田召旨・秋山修一・幾田茂仁・井藤光章・稲井健司・井上憲治・井上康子
今出 弘・岩崎英昭・上野照文・梅本貞則・大島茂信・大津勝治・賀川泰廣
川真田慶治・岸田義市・木田英之・木田正大・喜屋武美沙子・国見良幸
熊谷美知子・後藤田留美子・近藤博之・佐藤美智子・高橋一恵・武知 雅

田中伸廣・谷ひづる・長島 毅・新居 夷・西岡まゆみ・野口佳一・野藤みきよ
橋本圭祐・林 和彦・林 敏彦・板東泰雄・板東よしお・平野史子・廣野美知子
福井純子・福田 勉・船越正文・増田 寿・三木理司・水口義行・宮本幸治
三好和義・森 賢一・森内昭男・森住 博・柳本 正・山上 堯・山下修司
大和健司・吉田隆之・堀口幸男

◎第 64 回写楽会写真展 (7 月 13 日 (土) ~ 16 日 (月) 徳島市阿波銀プラザ)

出品者: 上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・後藤田留美子・佐藤美智子
長島毅司・西岡まゆみ・板東泰雄・堀口幸男

◎第 12 回二科会写真部徳島支部展 (7 月 26 日 (金) ~ 29 日 (月) 徳島市シビックセンター)

出品者: 秋山修一・幾田茂仁・河野俊文・木内正大・近藤博之・佐野和史・鈴江純史
谷 嘉明・土橋成行・姫野博司・平野史子・増田 寿・南 敦子・森内昭男
森住 博・大和章人・大和健司・山下修司

◎第 55 回ナルトピンボケクラブ写真展 (9 月 6 日 (金) ~ 8 日 (日) キョーエイ鳴門前店)

出品者: 賀川泰廣・木田 英之・武地 雅

◎72 回二科会写真部展 (9 月 4 日 (水) ~ 16 日 (月) 国立新美術館)

入選者: 河野俊文・木内正文・鈴江俊史・姫野博司

◎15 回 GruppoFoto23 写真展 (9 月 13 日 (金) ~ 16 日 (月) 阿波銀プラザギャラリー)

出品者: 井上康子・上野照文・喜屋武美沙子・熊谷美智子・高橋一恵・田中伸廣・谷ひづる
長島 毅・西岡まゆみ・山上 堯・吉田隆之

◎18 回写真同人「光」写真展 (9 月 14 (土) ~ 16 日 (月) 徳島市近代美術館ギャラリー)

出品者: 大島茂信・二階博司・林 和彦・林 敏彦・姫野博司・福井純子・福田 勉
松浦 孝・水口義行

◎第 9 回写真クラブ八丁目写真展 (10 月 11 日 (金) ~ 13 日 (日) 徳島市シビックセンター)

出品者: 南 敦子・森内昭男・山下修司

◎喜屋武美沙子写真展地球一周南半球の旅 (10 月 18 日 (金) ~ 20 日 (日) 徳島市シビックセンター)

◎17 回写好館クラブ写真展 (11 月 2 (土) ~ 4 日 (月) 吉野川市文化研修センターホール)

出品者: 岸田義市・木田英之

◎木田写真クラブ展「花鳥風月」(11 月 2 (土) ~ 4 日 (月) 徳島市近代美術館ギャラリー)

出品者: 木田英之・喜屋武美沙子・近藤博之・林 好一

◎188 歳写真展「木の向くままに」(11 月 2(土)~ 10 日(日) 吉野川市文化研修センターホール)

出品者: 木田英之

◎第 31 回朝日四国写真展 (11 月 10 (日) 徳島市徳島県教育会館にて審査)

入賞者: 福田 勉・井上憲治・森 賢一・秋山修一・野藤みきよ・林 好一・廣野美知子
阿部啓三・井藤光章・大津勝治・林 敏彦・光井雅巳・岡本早苗・箕村復次
賀川康廣・山田 卓

※会員消息は会員の展覧会情報などを載せていますが、情報などが把握出来ないこともあります。開催案内などを写真部会長まで、お知らせいただければ幸いです。

立体（彫刻）部

部会長 居上真人

年間展望

2024年に開催された放美展、徳島県美術展を中心に総括します。

◎第30回放美展 会期：2024年5月3日（金）～6日（月） 会場：あわぎんホール

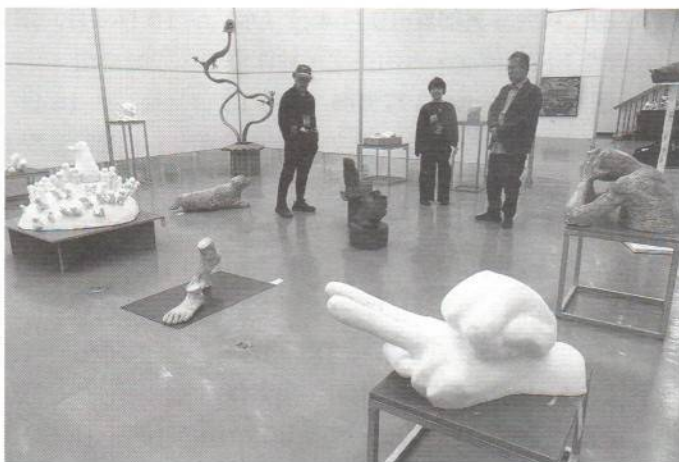
今回は、13点の作品が出品され、そのうち9点（受賞3点を含む）が入選しました。出品数は少なかったのですが、素材も多様でスケールの大きな作品が多く出品されており見応えがありました。また、どの作品にも制作者の思いや表現の意図が明確に伝わってくるレベルの高さを感じることができました。

放美賞の吉田陽子さんの作品「風神雷神」は、タイトルからイメージされる激しさを的確に表現していました。粘土のもつ素材の魅力を十分に生かし、生命感があふれる抽象的な表現は審査員を唸らせました。

次に、優秀賞の猪井賢二さんの作品「天空」は、龍が天空を舞う様子をダイナミックに表現し、彫刻のもつ空間的な面白さを巧みに表現していると感じました。

四国大学賞の松原琉衣（るい）さんの作品「プライド」は、木彫作品でした。素材から不必要なものを取り除く彫刻技法を逆手に取り、削った木片を再び付けるという意表を突く足し算的な表現に驚かされました。

なお、村沢陽さんの「烏合」、野田葵さんの「悩みはつきない」も賞候補として拮抗しており、審査員を悩ませました。



放美展審査風景



放美展ギャラリートーク風景

◎第78回徳島県美術展 会期：2024年10月9日（水）～14日（月） 会場：あわぎんホール

今回の県美術展立体（彫刻）部門の審査では、彫刻家の望月菊磨先生にお願いしました。18点の出品があり、13点（入賞5点を含む）が入選しました。

望月氏は、「出品者の年齢層と表現方法がバラエティーに富んでいて良かった。ベテランはベテランらしい努力の跡が作品に表れていた」と述べられていました。

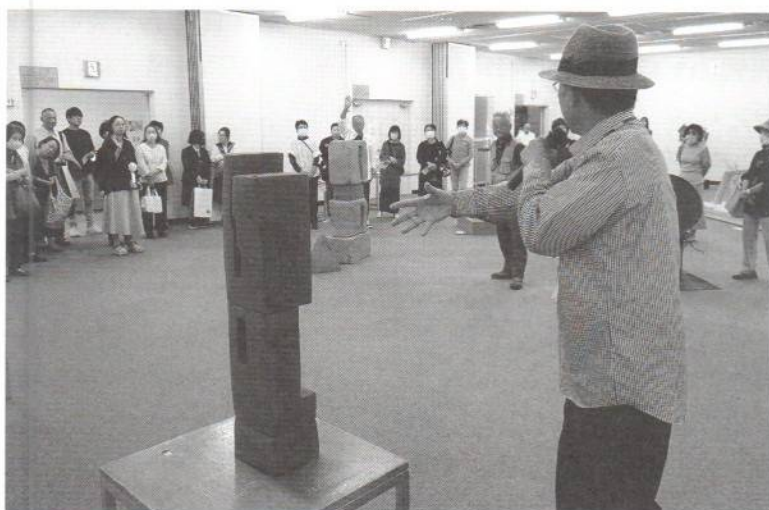
特別賞・特選には、東光司さんの「刻まれた風景 2024」が選ばれました。審査評では、「見た瞬間『良くできている』と感じさせる完成度の高い作品だ。土の中で長い間、埋まっていた古代の遺物を連想させる。石を割った部分をつくることによって長い歴史をイメージさせる。割っていない面と割った面との陰影のバランスも取れている。遺物は、災害で壊れたり、地中に埋もれたり、現代の災害のイメージにも繋がる」と評価されました。

次に、準特選には、二宮治夫さんの「劇甚の果て」が選ばれました。審査評では、「木の素材で災害大国日本の現状を表現したメッセージ性が強い作品。流木で潰された建物と被災者の断末魔の叫びが聞こえてくるよう

だ。樹皮を剥いだ木を使った点で作者の美意識が見える」と評価されました。もう一つの準特選には、小林正則さんの「サドン・レイン（驟雨（しゅうう）」が選ばれました。審査評では、「男女が1枚のコートを頭の上で羽織って走る姿をモチーフにした作品だ。二人の一体感があってロマンチックさを漂わせている」と評価されました。なお、奨励賞には田中文音さんの「ヤバイ」と大貝寿子さんの「愛を呼んでいる」が選ばれました。ギャラリー賞には、川村桂子さんの「Naruto sea life」が選ばれました。審査員の望月氏が、審査員評（徳島新聞）で「美術の目を養う文化教育は、利便性や経済的な価値と直接結びつかないが、生きることや幸せ、人の繋がりなどを考える思考や哲学を育む。文化教育の充実を望みたい」述べていたことに共感いたしました。



県美術展審査風景



徳島県美術展ギャラリートーク風景

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 特別出品	シビックセンター
	3月	「六地藏」設置	徳島市寺町
	6月	2024 宮崎現代彫刻・空港展	宮崎ブーゲンビリア空港
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	第55回記念 花と彫刻展	大阪市うつぼ公園
	12月	徳島彫刻集団 室内展`24	あわぎんホール
井下 俊作	8月	「どまんなか」設置	那賀郡長安口ダム左岸展望台
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園

大貝 貞雄	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	シビックセンター
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	12月	徳島彫刻集団 室内展`24	あわぎんホール
大貝 寿子	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 無鑑査出品	シビックセンター
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	12月	徳島彫刻集団 室内展`24	あわぎんホール
河崎 良行	4～5月	河崎良行回顧展	あわぎんプラザ
木村 大志	3月	第16回 春季 二紀展	東京都美術館
	3月	2024 春季 徳島二紀展	アートギャラリー GRACE
	8月	第38回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第77回 二紀展	国立新美術館
上月 佳代	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	2024 春季 徳島二紀展	アートギャラリー GRACE
	3月	第16回 春季 二紀展	東京都美術館
	5月	第9回 東京国際美術展 2024	ギャラリー大和田/渋谷区文化総合センター
	6月	第10回 女子美術大学同窓会徳島支部展	HIRAOKA ギャラリー
	8月	第38回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第77回 二紀展	国立新美術館
	10～11月	第3回 峡谷の郷おったち現代美術展	旧出雲市立乙立小学校
	11～12月	モイモイ 13 家族	moi moi gallery
武田亜希子	12月	石見銀山小品展	島根県大森町
	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	2024 春季 徳島二紀展	アートギャラリー GRACE
	3月	第16回 春季 二紀展	東京都美術館
	6月	第10回 ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	8月	Tシャツ展 4	うしお画廊
	8月	第38回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第77回 二紀展	国立新美術館
	10月	徳島大学総合科学部創立 150 周年記念モニュメント設置	徳島大学常三島キャンパス

	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
	12月	第53回 歳末チャリティー美術展	アミコ東館 6階
東 光司	1月	第55回 モダンアート徳島支部展	あわぎんプラザ
	4月	第74回 モダンアート展	東京都美術館
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	12月	徳島彫刻集団 室内展`24	あわぎんホール
松永 勉	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	9～10月	第79回 行動展	国立新美術館
	10月	第62回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	第79回 行動展関西巡回展	京都市京セラ美術館
	10～11月	第3回 峡谷の郷おったち現代美術展	旧出雲市立乙立小学校
	12月	石見銀山小品展	島根県大森町
	12月	徳島彫刻集団 室内展`24	あわぎんホール
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
	12月	第53回 歳末チャリティー美術展	アミコ東館 6階

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

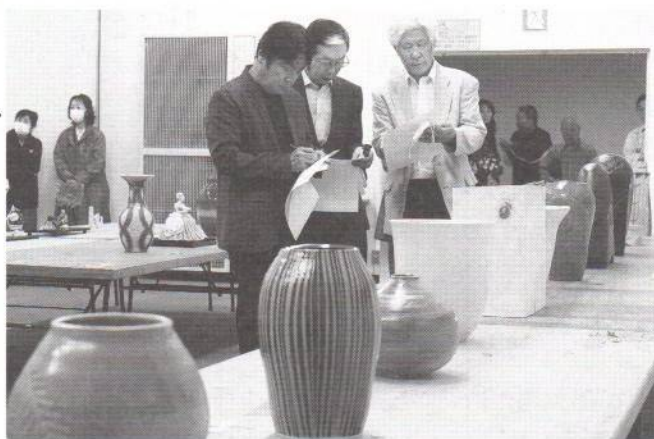
◎第30回放美展 令和6年5月3日（金）～5月6日（月） あわぎんホール

4月29日（月）公開審査が行われた。出品数は前回より13点少ない63点であった。

ジャンル別では陶磁25点、パッチワーク13点、染色4点、押し花4点の順に多かった。その中から44点を入選とし、放美賞1点、優秀賞3点、四国大学賞1点が選出された。審査員出品3点、無鑑査出品3点も展示された。出品数の減少がかなり気になるが、内容的には力のある作品が多かった。ただ表現の工夫をさらに深めて欲しい。

審査員は森賢一（木）、橘恵（染色）、森明治（陶磁）がつとめた。5月6日（月）にギャラリートークが行われ、作品に対しての内容のある質問などに、3人の審査員が答えた。

第30回記念として、審査員経験者、無鑑査終了者たちによる特別展示も行われた。



放美展審査風景

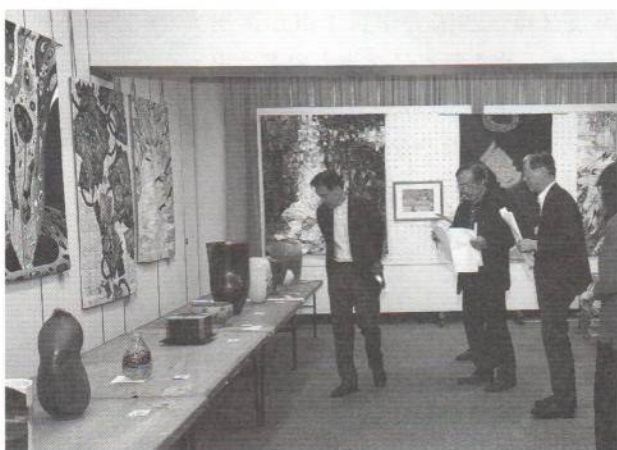
◎第78回県美術展 第2期 令和6年10月16日(水)～21日(月) あわぎんホール

第78回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は98点(前回109点)と、前回より11点少なかった。県美術展も出品数の減少が気になるが奮起を期待しています。ジャンル別では陶磁39点、パッチワーク21点、ガラス7点、押し花6点、染色5点、木5点の順に多かった。



今回の審査員は福島善三先生(日本工芸会参与・日本伝統工芸展日本工芸会総裁賞・重要無形文化財保持者<人間国宝>・陶磁)をお願いした。公開審査で行われた。

総評では「レベルの高い作品が多く、物語を読み取れる作品もあり、さらに上をめざしてほしい」ということであった。審査終了後「審査員の先生を囲む会」を出品者の方に参加を募って開いた。福島善三先生に会場の方でも作品についてなどいろいろとご指導をいただいた。



県展審査風景

第78回県美術展でもギャラリートークが行われた。

10月20日(日) 松下慶一(陶磁)、橘恵(染色)、藤井哲信(ガラス)がつとめ、出品者や見に来られている方達に物づくりの気持ち、作品づくりなどを説明し、質問も受けた。

◎最後になりましたが、美術工芸部理事の藤井哲信さん(ガラス)が「第16回とくしま芸術文化賞」を、美術工芸部委員の田村栄一郎さんが徳島県卓越技能者「阿波の名工」を受賞されました。



ギャラリートーク風景

会員消息 (県展・放美展は除く)

阿部 能則	・第38回藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
天野 和子	・第62回日本現代工芸美術展(無鑑査)	4月	東京都美術館
	・第21回徳島版画展(阿波和紙会館賞)	10月	阿波銀プラザ
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第30回全国公募徳島県手工芸展 in 鳴門	11月	キョーエイ鳴門駅前店
	・第8回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
上田 優	・日本きりえ美術展(日本きりえ協会賞)	11月	東京都美術館
遠藤 勇	・第38回藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
遠藤 好子	・第38回藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
大貝 貞雄	・陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	1月～12月	日和佐勝瀬ギャラリー
	・第52回徳島市芸術祭美術展(特別出品)	2月	シビックセンター
	・第20回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・第52回全国公募徳島県手工芸展(招待)	11月	あわぎんホール
近藤佐起江	・第52回徳島市芸術祭美術展(無鑑査)	2月	シビックセンター
	・第62回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・徳島県手工芸家協会 理事・賛助作品展(第31回情熱の女たちからのメッセージ)	6月	吉野川市文化研修センター
	・第20回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・第58回現代工芸四国会展	7月	かまどホール
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
近藤美佐子	・第62回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第11回日展	11月	国立新美術館
篠原 安雄	・第31回情熱の女たちからのメッセージ	6月	吉野川市文化研修センター
	・第52回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第30回全国公募徳島県手工芸展 in 鳴門	11月	キョーエイ鳴門駅前店
柴 純代	・小栗加代子パッチワークキルト作品展「柴純代展」	7月	ギャラリー oguri
高瀬 裕司	・第52回徳島市芸術祭美術展(徳島市文化振興公社賞)	2月	シビックセンター
	・第52回全国公募徳島県手工芸展(優秀賞)	11月	あわぎんホール
田村栄一郎	・PLAIN PEOPLE 特別展	1月	銀座東急プラザ
	・徳島県卓越技能者「阿波の名工」	11月	徳島県庁
手塚 健一	・第52回全国公募徳島県手工芸展(招待)	11月	あわぎんホール
鳥井 明子	・第62回日本現代工芸美術展(現代工芸賞)	4月	東京都美術館
	・第11回日展	11月	国立新美術館
内藤 久子	・第62回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館

	・第 58 回現代工芸四国会展	7 月	かまどホール
	・パッチワークキルト O.Q.S 全国展 in 徳島	10 月	牟岐町海の総合文化センター
	・第 8 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
長尾 敏子	・第 52 回徳島市芸術祭美術展（招待）	2 月	シビックセンター
	・第 52 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
仁田 和子	・第 20 回総合美術展	7 月	吉野川市文化研修センター
	・パッチワークキルト O.Q.S 全国展 in 徳島	10 月	牟岐町海の総合文化センター
	・第 8 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
福本美智代	・第 62 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 11 回日展	11 月	国立新美術館
	・第 52 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 8 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・第 16 回とくしま芸術文化賞	3 月	
	・第 66 回伝統工芸四国会展（奨励賞）	4 月	高松三越
	・藍色のガラス展	6 月	ギャラリーバンサン
	・吉野川市文化協会設立 20 年記念美術展	7 月	吉野川市文化研修センター
	・第 16 回 '24 日本のガラス展	10 月	代官山ヒルサイドテラス
藤中 教代	・第 52 回徳島市芸術祭美術展（招待）	2 月	シビックセンター
前野 亮治	・モダンアート徳島支部展	1 月	阿波銀プラザ
松下 慶一	・松下慶一作陶展	11 月	イオンモール徳島
松永 卓司	・第 52 回全国公募徳島県手工芸展（手工芸家協会賞）	11 月	あわぎんホール
丸居 哲雄	・現代のクラフト展（佳作）	9 月	あわぎんホール
	・エナジー 2024	10 月	文化の森
森 賢一	・第 62 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回現代工芸四国会展	7 月	かまどホール
	・第 11 回日展	11 月	国立新美術館
山本 由実	・第 62 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 11 回日展	11 月	国立新美術館
	・第 2 回“ 宙物語 ”	11 月	じょじょりん（鳴門市）
吉野 由紀	・第 52 回徳島市芸術祭美術展（招待）	2 月	シビックセンター
	・押し花絵画創造展	4 月	立川国営昭和記念公園
	・「花あそび」押し花作品展	5 月	徳島県立総合教育センター
	・令和 6 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
四十宮年代	・第 52 回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2 月	シビックセンター

書 道 部

部 会 長 亀 石 文 苑

年間展望

今年度は、コロナあけということで、出品者数・出品点数が少し減少したが、通常の展覧会・審査会の実施となった。また改善してはどうかと考えた点は実施してみた。

(※以下敬称略・順不同)

◎第30回放美展 5月3日(金)～6日(月) あわぎんホール3階

作品搬入と審査・展示を4月28日(日)1日で実施した。午前中は田村元、森、林美、亀石、アルバイト数名で作品搬入、1時から3時まで公開審査、今回から入賞者選抜に関しては各部門から2倍の点数を選び、3名の審査員で意見を出し合い、合意の上で賞を決定した。3時以降7時まで作品展示、表彰式は5日(日)2時から、ギャラリートークは6日(月)11時から実施、今年度審査員の玉城乾香・田村元帥・亀石の3名が担当した。

今回は30回記念展ということで、荒井彰・能仁・隅田の3人の先生方に特別出品、中尾・川村の2人の先生方に無鑑査出品をして頂き、無事盛会裏に終了した。

応募点数 226点(前回比+6点) 放美賞 1点 優秀賞 9点 四国大学賞 1点 入選 147点 審査員作品 3点 計161点を展示した。



放美展会場風景



放美展ギャラリートーク

◎第 78 回県美術展 10 月 23 日（水）～ 28 日（月） あわぎんホール 3 階

応募点数 570 点（前回比－ 24 点） 応募人数 346 名（前回比－ 13 名）

特別出品 2 名 招待 33 名 無鑑査 4 名 徳島新聞社長賞 1 点

特選（特別賞を除く） 7 名 準特選 14 点 奨励賞 13 点 入選 290 点

計 364 点を展示した。

○書類搬入 9 月 28 日（土） あわぎんホール 3 階 A 展④⑤

協力者：谷本真・折野幸・森川・阿部珠・長井・岡部・佐野・田上・谷令・川村・勝浦・平田・板東亜・戸出・横田・中尾・山本景・森・藤田美・坪井・内田美・寺尾・阿部博・川端・高瀬・浜・佐藤恵・長原・玉城乾舞・山口蘭・日下・梶川・荒井・岩本・亀石 計35名

○作品搬入 10 月 4 日（金） あわぎんホール 3 階 A 展①～④ B 展⑥～⑧ 大展

協力者：河野多・八木・長井・林美・岩本義・稲井・山本晏・福家・前田・佐野恵・大杉・篠原・背川・高橋・藤田美・板東杏・向井京・杉本・岩本・野田・清水・大西清・岡崎・木田・佐藤・荒井・能仁・川村・森・亀石 計30名

○審 査 10 月 5 日（土） あわぎんホール 3 階 A 展①～⑤ B 展⑥～⑧ 大展

審査員に、漢字・篆刻は山本悠雲先生、仮名は深瀬裕之先生、近代詩文は加藤有鄰先生

をお迎えし、公開で厳正な審査をしていただいた。審査協力者の先生方は、専門外の部門を担当するなど、公平・公正性に配慮し、審査後には誤発表とにならないように細心の注意と確認をしていただいた。今回から仮名の巻物と折本の細字作品は先に見て頂き、壁面の大字・中字作品はその後、審査をして頂いた。審査員の先生もその方が審査がやりやすいと仰っておられた。

協力者：森・加村・向井京・長原・武田・岩本・中川観・福家・矢部・鳩成・林美・
谷本真・川村・荒井・亀石 計15名 学生アルバイト25名

○写真撮影 10月8日(日) 8:50 集合 9:00～13:30 あわぎんホール3階 B展⑦～⑧

協力者：大塚・土井・井上雄・辻・西宇・井上景・向井京・石川英・武田玲・阿部珠・
荒井・岩本・森・川村・亀石 計15名

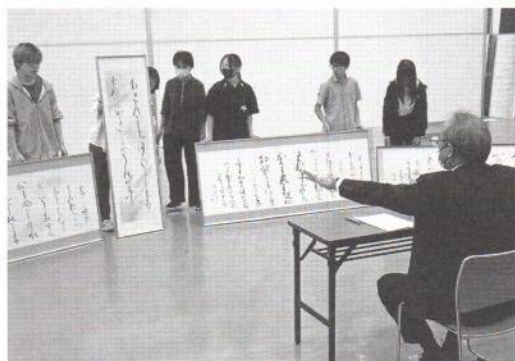
○展 示 10月22日(火) あわぎんホール3階 A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展

作品を重文庫より運び出し入賞作品・入選作品の配置を決める作業の後は、業者さんだけでなく、書道部員も一緒に展示作業となった。皆さんのご協力のお陰で早く作業が進んだ。最後に高さ、作品間の広さなどをチェックし、名札をつけて無事終了した。

協力者：谷本真・宮本・矢部・野口・富永・多田彩・春藤・丸岡・中村春・三木・堀・
三浦・後藤・戸出・木村・松本景・宮守・藤田美・森本・折野佳・平岡・多田・
樫山・大井・坂東裕・中川観・梶川・岩本・荒井・亀石 計30名



県展審査風景（漢字）



県展審査風景（仮名）



県展審査風景（近代詩文・前衛）

- 搬 出 10月30日(月)あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展
協 力 者: 八木・吉村・伊達・三好・林^傳・古川・石堂・横田・内藤・背川・三宅・
井上・和田・平岡・福山・長尾・森本・梶川・荒井・川村・亀石 計21名

会員消息 (県展・県内社中展を除く)

◎中央展や県外展の役員出品者・入賞者 (令和6年1月～令和6年12月)

○第65回記念太玄会書展 (東京都美術館 1/20～26)

総 務 中尾勝子
理事・実行委員 南 溪石・西谷香峰
理 事 弘田長風・鈴木恵理
記 念 賞 西谷香峰

○第45回日本書道学院展 (東京都美術館 1/28～2/3)

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流
理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・背川景玲
高橋芳琴・廣瀬蕙花・松本景芳・宮守崇流・森 光翔・山本景琴

○第86回謙慎書道会展 (池袋サンシャインシティ 3/16～22)

(東京都美術館 3/17～23)

常 任 理 事 米澤東籬
理 事 平田紀芳・石川翔芳
評 議 員 竹内靖磐

○第55回正筆会菁華書作展 (東京銀座画廊 2/23～25)

常 務 理 事 亀石文苑
総 務 理 事 加村喜美子・糺真理子・内田麻紀

○第60回記念創玄展 (国立新美術館 3/7～17)

一 科 審 査 員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香
二 科 審 査 員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・岡崎啓香・高瀬大峯・長原舉月
審 査 会 員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三皐如・山口幽径・大西清葩
佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞・丸田恵風・野田満代
川又晃容・遠藤玻都恵

創玄展記念賞 岸 緑香
秀 逸 児玉永祥・和田白滔・長尾香蘭・藤本瑤香
二 科 賞 山本 勇

○第11回轟友会書展 (愛知県立美術館 4/16～21)

常 任 理 事 米澤東籬

○第78回日本書芸院展 (大阪国際会議場 4/17～21)

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤・伊丹東龍・上田輝芳・福永美泉
評 議 員 亀石文苑・辻 紅雲・福家美鵬・川村春琴・森 光翔・吉田翠彩

	山本景琴
一科審査会員	清水桂月・松永翠月・八木藍玉・井上虹雨・林 美雪・河野多美 石井祥洸・背川景玲・松本景芳・佐野収華・高橋芳琴・青木東原 竹田和代・阿部博子・恵美春陽・廣瀬蕙花・岡部比登美・横田典子 戸出芳泉・井上景玄・四宮千春・稲木裕美・杉本裕子
二科審査会員	節 爽韻・折野佳子・寺尾俊通・吉村敬子・園尾恵風・河野美鶴 市原美希
史 邑 賞	古川秀蕙
大 賞	折野幸峰・市原美希
準 大 賞	園尾恵風・河野美鶴・寺尾俊通
特 別 賞	木村秀光・稲井華風・前田翠琉
準 特 別 賞	河見踏春・岩本義浩・佐竹夏実・畠山花鮮
特 選	京野白燕
一科推薦賞	多田彩峰・香川百々花・三宅葉子

○第52回日本の書展（マイドームおおさか 5/1～3）

招 待	清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・上田輝芳・亀石文苑・川村春琴 井上虹雨・辻 紅雲・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔 山本景琴・古川秀蕙・勝浦光漾・福永美泉
秀 抜 選	武市鳴雲・井上景玄・背川景玲・松本景芳・高橋芳琴・廣瀬蕙花 岩本志豪・吉田和婉・八木藍玉・田中子葉・戸出芳泉・田村元帥 佐野収華・恵美春陽・岩本義浩・内田麻紀・加村喜美子・糺真理子 大西清葩・四宮千春

○第42回日本詩文書作家協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/4～9）

正 会 員 浜 佳香

○第75回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/23～25）

顧 問	薄田玲泉・上田輝芳
副 理 事 長	森 光翔
専 務 理 事	井上虹雨
常 任 総 務	山本景琴
常 任 理 事	倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松本景芳・廣瀬蕙花・高橋芳琴

○第47回由源全国書道展（マイドームおおさか 6/29～30）

理 事	川村春琴
常 任 委 員	丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴・谷 令琴
日本書芸院賞	丸岡春暁

○第38回玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 7/5～7）

副 会 長	伊丹東龍
常 任 総 務	辻 紅雲・福家美鵬・古川秀蕙・吉田翠彩・勝浦光漾
総 務 理 事	田村元帥

- 常務理事 田中子葉・由宇星華
理事 谷内花聲
- 第75回毎日書道展（国立新美術館 7/10～8/4）（愛媛県立美術館 8/21～25）
- 審査会員 荒井彭仙・玉城乾香
会員 永松春苑・浜佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴
長原皋月・高瀬大峯・幸田清尚・玉城乾舞・中川観山・大西清葩
会員賞 長原皋月
佳作賞 川端康清・遠藤玻都恵・武田玲香
- 第58回雪心会書作展（上野の森美術館 8/1～5）
- Fクラス 青木東原
Eクラス 吉村敬子
- 第62回墨滴会全国書展（マイドームおおさか 8/10～11）
- 常任理事 戸出芳泉
- 第29回全日本高校・大学生書道展（原田の森ギャラリー 8/23～27）
- 書道展賞 前田翠琉
- 第40回読売書法展（国立新美術館 8/23～9/1）（サンメッセ香川 10/12～14）
- 参与 竹田和代・薄田玲泉
理事 能仁華瑤・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑・辻紅雲・林美雪
川村春琴・米澤東籬・井上虹雨・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩
森光翔・古川秀蕙・山本景琴・勝浦光漾・田村元帥・福永美泉
糀真理子・加村喜美子
- 幹事 井上景玄・背川景玲・松永翠月・佐野収華・青木東原・松本景芳
廣瀬蕙花・田中子葉・河野美鶴・阿部博子・八木藍玉・鈴木恵理
高橋芳琴・四宮千春
- 評議員 内田麻紀・杉本裕子・石井祥洸・節爽韻・平田紀芳・折野佳子
丸岡春暁
- 読売新聞社賞 廣瀬蕙花
読売俊英賞 松本景芳
読売奨励賞 節爽韻・折野幸峰・丸岡春暁
- 特選 前田翠琉
秀逸 木村秀光・谷内花聲・畠山花鮮・藤田美也子・寺尾俊通・稲木裕美
- 第61回水穂書展（京都市京セラ美術館 9/20～22）
- 総務 向井京子
- 第65回記念墨華書道展（高松市美術館 9/21～23）
- 理事 中川観山
同人 佐藤由紀代
- 第50回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 10/29～11/3）
- 入選 児玉永祥・岸緑香

○第73回奎星展（東京都美術館 11/1～8）

同 人 中川観山

○第11回日本美術展（国立新美術館 11/1～11/24）

入 選 米澤東籬・森 光翔・亀石文苑・加村喜美子・糀真理子・中尾勝子
廣瀬蕙花・福家美鵬・松本景芳・石川翔芳

○第33回謙慎書道会展西部展（岡山県天神山文化プラザ 11/26～12/1）

常 任 理 事 米澤東籬
理 事 平田紀芳・石川翔芳
評 議 員 竹内靖馨

○第76回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/7～8）

参 事 竹田和代
常 務 理 事 亀石文苑
総 務 理 事 加村喜美子・糀真理子・阿部博子・内田麻紀・杉本裕子
常 任 理 事 脇坂 優・和泉和舟・折野佳子・寺尾俊通・田岡佐記子・三宅葉子
理 事 今津紫秋・中川年代・濱口 恵・平尾卓美・藤田美也子
正 筆 賞 藤田美也子
神戸市教育長賞 坪井佳代
梅 花 賞 板東杏樹・篠賀知代

○第59回現創会書展（京都市京セラ美術館 12/13～15）

理 事 福永美泉
特 選 四宮千春
準会員推薦賞 市原美希・板東亜美

○第64回璞社書展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/25～28）

顧 問 清水桂月
参 事 能仁華瑤
参 与 武市鳴雲・馬居李帆・南 溪石
常 任 理 事 八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理
弘田長風・佐野収華
理 事 田上洋香・岡部比登美・河野美鶴・澤本悠洸・片山芳明
谷本真由美・野口有香・鄒 爽韻
幹 事 上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・北村清翠
園尾恵風・木村秀光・寺澤華玉・多田彩峰・一宮堆川
入 選 高橋信華
日本書芸院賞 岩本義浩
特 別 賞 瀬山花郷

◎県内社中展や個展等

○第15回徳洋社書作展	県立文学書道館	2月 2日～	4日
○第47回東玄書道会展	阿波銀プラザ	2月17日～	19日
○第44回書研社展	徳島市シビックセンター	3月22日～	24日
○第51回光輪社書作展	県立文学書道館	3月29日～	31日
○第17回幽の会書展	徳島市シビックセンター	5月17日～	19日
○第30回記念 耿の会書作展	あわぎんホール	5月17日～	19日
○徳島書芸院ジュニア展	阿波銀プラザ	5月17日～	19日
○伊丹東龍喜壽展	県立文学書道館	5月30日～	6月 2日
○第89回書芸院展	阿波銀プラザ	9月 5日～	8日
○第69回書協人展	あわぎんホール	9月26日～	28日
○射場少藍書作展	県立文学書道館	9月27日～	29日
○糺真理子県書展大賞受賞記念展	アートギャラリー GRACE	10月 6日～	14日
○武市鳴雲書作展	吉野川市文化研修センター	10月11日～	15日
○篆刻書作展	吉野川市文化研修センター	10月25日～	27日
○第35回長玄書道会展	阿波銀プラザ	11月 8日～	10日
○第27回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月22日～	24日
○第54回直心会書展	あわぎんホール	11月29日～	12月 1日
○令和6年度高校教員書道展	県立文学書道館	11月30日～	12月 1日
○第44回臨池書展	徳島市シビックセンター	11月30日～	12月 1日
○第9回由源書心会展	県立文学書道館	12月13日～	15日
○第28回尚真書展	あわぎんホール	12月13日～	15日

※会派からの報告を受けて掲載しております。

掲載を希望される場合は、会派で取りまとめ 12 月 20 日までに部会長までお送りください。無所属の方は個人でお送りください。ただし掲載は美術家協会会員に限ります。

デザイン部

部会長 坂野 美恵子

年間展望

令和6年度は、第30回放美展と第78回徳島県美術展の審査は予定通り開催されました。作品審査も公開で行われ、出品点数も放美展では大幅に増え個性豊かな作品が多く見応えのある展覧会になりました。

◎第30回放美展 会期（2024年5月3日（金）～6日（月）） 場所：あわぎんホール

公開審査は、4月28日（日）あわぎんホールで行われ、出品点数は106点、受賞作品6点、入選作品67点で高校生と大学生が大半を占めました。出品作品も色彩豊かな作品が多く来場者も満足した様子でした。

審査は、（斎藤繁次・四十宮隆志・坂野美恵子）の3名が担当し厳正な審査が行われました。



放美展審査風景



放美展展示会場

◎第78回徳島県美術展 会期(2024年10月16日(水)～21日(月)) 場所:あわぎんホール
出品点数は57点、受賞作品は8点と出品点数は昨年より少し減少しましたが、受賞作品については、とてもクオリティーが高いと審査員からの高評価を頂きました。
審査員は、多摩美術大学教授の永井一史先生をお迎えしました。



県展審査風景



県展ギャラリートーク



県展会場風景

会員消息

■斎藤 繁次

- 11月 第38回 藍美展（11/8（金）～10（日））
場所 藍住町総合文化ホール 2F 交友室 2

■斎藤 志津子

- 11月 第38回 藍美展（11/8（金）～10（日））
場所 藍住町総合文化ホール 2F 交友室 2

■坂野 美恵子

- 1月 坂野美恵子グラフィックアート展（1/22（月）～2/21（水））
場所 四国大学中央棟1階ロビー（作品約20点展示）
- 4月 坂野美恵子作品展（4月～12月の間、作品21点を展示）
場所 四国大学交流プラザ1階ロビー
- 6月 坂野美恵子グラフィックアート展（6月～8月）
場所 徳島市民病院2階常設ギャラリー（作品7点展示）
- 8月 徳島県立川島高校卒業生美術展 デザイン部門出品
場所 吉野川市文化研修センター
- 11月 坂野美恵子グループ展（11/12（火）～11/22（金））
水彩画・鉛筆画・グラフィックデザインの3名が出品
場所 四国大学中央棟1階ロビー

■佐藤 あすか

- 6月 第4回全国公募「Tシャツデザイン展」（徳島県障がい者芸術文化活動支援センター主催）
審査員／Tシャツデザイン
- 10月 瀬戸内デザイングランプリ 2024 審査員・表彰式 出席
場所 徳島穴吹カレッジ本校 11F
- 12月 Rethink Creative Contest 2024 優秀賞

■敷島 のり子

- 2月 第52回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員 B1 ポスター審査員出品
（2月22日（木）～25日（日））[徳島市文化協会・（公財）徳島市文化振興公社]
場所 徳島市シビックセンター 3階ギャラリー
- 4月 敷島のにり子アート展（4月1日（月）～30日（火）） 場所 森珈琲店
- 12月 瀬戸内デザイングランプリ 2024 審査員・表彰式 出席
場所 徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F

■沢口 功

- 12月 第53回歳末チャリティー美術展(12月12日(木)～15日(日))
場所 アミコ東館6階催事場 公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団

■田中 一郎

- 2月 第52回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
3月 第32回城東高校定期演奏会 (ポスター チラシ チケット プログラム 看板) のデザイン制作
4月 春風コンサート2024 (チラシ チケット プログラム) のデザイン制作
11月 ヴォーカルグループ Sole 第40回記念コンサート
(チラシ チケット プログラム) のデザイン制作

■西林 良枝

- 2月 第52回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員B1ポスター審査員出品
(2月22日(木)～25日(日)) [徳島市文化協会・(公財)徳島市文化振興公社]
場所 アミコシビックセンター3階ギャラリー

■山野井 広宗

- 9月 第108回二科展デザイン部門 特別テーマ・ポスター部門 会友賞受賞
場所 東京都美術館

■吉本 寛

- 2月 第52回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員B1ポスター審査員出品
(2月22日(木)～25日(日)) [徳島市文化協会・(公財)徳島市文化振興公社]
場所 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■四十宮 隆志

- 2月 JAGDA 徳島デザイン展 BEYOND (2/22(木)～25(日))
企画運営・出品・トークイベント進行
場所 徳島市阿波銀プラザ
6月 JAGDA 地区ブロック活動報告会 出席
場所 岡山市ルネスホール
6月 JAGDA 全国大会 in 岡山 2024 出席
場所 岡山市ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス
12月 瀬戸内デザイングランプリ 2024 JAGDA 徳島地区共催
ポスター・フライヤーデザイン (キービジュアル新村則人氏・審査 & 表彰式 出席)
場所 徳島穴吹カレッジ本校 11F

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	平成 4. 6. 27	規約一部改正
32. 7. 14	新規約制定	6. 6. 25	"
33. 4. 29	規約一部改正	10. 6. 27	"
42. 4. 23	"	23. 6. 4	"
46. 4. 29	"	24. 6. 9	"
47. 5. 29	"	25. 6. 1	"
49. 8. 22	"	26. 6. 1	"
52. 7. 23	"	28. 6. 4	"
56. 5. 5	"	30. 5. 26	"
58. 6. 5	"	令和 6. 5. 18	"
61. 6. 21	"		

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④立体(彫刻)
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。
- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
- ②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事は本会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が

招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
部監事(2名)
事務局員(2名)
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1(監事)
監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2(総会の議長)
総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務所を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所

団 体 名

代表者名

印

電話番号

— —

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： ） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 氏名
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

※コピーしてご利用ください

会 員 名 簿

美術家協会の会員制度

- ◎ 会員になるためには、各部委員会の推薦による承認が必要です。
- ◎ 会員は次のいずれかの部に属するものとします。
 - ①日本画 ②洋画 ③写真 ④立体（彫刻） ⑤美術工芸 ⑥書道
 - ⑦デザイン
- ◎ 会員は、会費年額 3,500 円（うち 1,750 円は部会費）を定められた日までに納入して下さい。
- ◎ 新しく会員になる場合は、入会金として 1,000 円を納入して下さい。
- ◎ 定められた日までに、会費未納のときは退会とみなします。
- ◎ 会員は県美術展・放美展等への出品、展覧会、講習会の案内で、恩典を得ることができます。

（昭和 44 年度から実施。昭和 49 年、平成 10 年、令和 5 年一部改正）

あ　と　が　き

昨年の能登半島地震が記憶に残る中、2025年1月15日に日向灘を震源地とした地震が発生しました。徳島県に特に影響はありませんでしたが、政府の地震調査委員会からは「南海トラフ巨大地震が、30年以内に発生する確率が80%に引き上がった」と発表されました。新聞やテレビでも報道されて、ますます現実味を帯びてきました。これからさらに個々の万全な対策が必要であると思われますが、恐怖に苛まれているだけでは何一つ前には進まないと思います。

私たちが携わる芸術には、豊かな人間性を育て人が人らしく生きるための創造性や感情の向上に繋がる力があります。

さて、令和6年度の特徴として放美展では、第30回記念展として特別展示などを設けて盛大に開催されました。

第78回徳島県美術展では、コロナ前の通常開催にほぼ戻りました。

このたびの「美術年報」の表紙は、美術工芸部、森明治さんにお願ひしました。「大谷焼窯変大鉢」の写真のご提供をいただきました。

事務局は2年間の任期でしたが、デザイン部の敷島が担当させていただきました。行き届かない点もあったことと存じますが、皆様のご協力によりまして無事に勤めることができました。ありがとうございました。

最後になりましたが、皆様がこれからもご健康で、より一層創作活動にお励みになられることを心からお祈りいたします。

令和7年3月

徳島県美術家協会

事務局長 敷島のり子

美術年報 2025

令和7年3月30日 印刷

令和7年3月31日 発行

編集者 敷 島 のり子

装幀者 森 明 治

発行人 松 永 勉

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市応神町西貞方字小島66 敷島方
